男女貞潔之理想　公娼廢止之主張
會長 島田三郎　副會長 安部磯雄
5—289

廓清

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正八年九月二十五日印刷）
（大正八年九月二十五日發行）
（毎月一回十日發行）

第九卷第九號

□再び朝鮮問題を訴ふ……廓清會長 島田三郎
□特に半島の鮮人に告ぐ……同 島田三郎
□對支對米外交の失敗……同 島田三郎
□高橋藏相と物價問題……同 島田三郎
□日本婦人問題の將來……同副會長 安部磯雄
□社會問題としての離婚……立教大學長 元田作之進
□和歌山市民と公娼案……和歌山新報社長 久下豐忠
□福澤翁の一夫一婦論評……一條忠衛
□性慾に對する態度……三高教授 栗原基
□性の教育と身體の暴露……理學博士 山内繁雄
□大正七年度事業報告……廓清會理事 益富政助
□遊廓物語（十四）……婦人救濟掛 伊藤少枝
□娼妓病院手記（六）……看護婦 田口和子
□編輯局から……伊藤江南

東京 廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ライオン歯磨（はみがき）

夜寝る前に歯をお磨きなさい。

■多くの方は大抵朝だけしか歯を磨きませんが、徹底的に齲歯を豫防しやうと思召すなら、必ず夜寝る前に歯を磨かなければなりません。

■一体夜は其日一日中に食べた食物のこまかい食片が歯の間に残つてゐて、それが腐敗醗酵して乳酸を作り、此乳酸によつて齲蝕が始まるのですから、夜寝る前に丁寧に歯を磨いて、是等の残留食片を取り除く事が齲歯の豫防上最も大切の事でございます。

廓清
THE PURITY

大正八年九月

第九巻第九號

再び朝鮮問題を訴ふ

廓清會長　島田三郎

□新總督の宣言と暴徒の心事

朝鮮の形勢は本年に入りて一大變化を現はせり、想ふに三月の騷擾は十餘年間、半島に鬱積せる不平の氣が世界の變局に會して爆發したるに外ならず。若し其保護國となりたる當時の緩和精神を繼續し誠實に寛大の政策を執りたらんには、此騷擾は起らざりしならん。若し併合當時の宣言を正當に實行し、一視同仁の待遇を與へ鮮人が李朝多年の虐政を脱して、日本新政の德澤に感孚するの成績を擧げんには、假令世界の變局に際會するも半島は其餘波を受くること無かるべし。不幸内部に大なる缺陷ありて鮮人生を聊ぜず、其不平訴ふるに所なく其前途の冀望絶えんとせり、是れ彼れが如き騷擾を生じ慘澹たる悲報を傳ふるに至る所以也。

日鮮過去十餘年の歷史は、之を一洗すること今日に在り。新總督の宣言は其旨趣極めて可なり、要は其實行の確實を期するにあり、不幸にして過去の事績は實行其宣言の如くならざりき、之によりて信を鮮人に失ひ外間の批評も亦半島の政治に可ならず、延きて日本帝國の信義を疑ふるに至る。今に於て、此過去の記憶を一掃し内外人をして好望を新政に屬せしむるに至りて、此に併合の目的を達する徑路に就くものと言ふべし。

不幸にして、新總督入京の日投彈の奇變を見、幾多の負傷者を出したるは眞に痛嘆すべし。但總督の無事なりし事は不幸中の大幸なりき。暴徒の心事測り知るべからず、彼は過去積年の匪政を怨み特に近時の虐遇を怒り、其積憤を泄さんとして自暴自棄の妄動を逞くしたるもの歟。將來の約束履

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

行を信ぜず前途の望を絶ちて、此暴擧に出たる歟、抑改革の約束は徒に空望を鮮人に懷かしめ折角に激昂結成せしめたる人心を緩和し、獨立の志氣を挫折すべきを憾み、投彈の一擧以て日鮮の調和を破壞し以て最後の衝突を起さんとするに在る歟。

□渇ける者は飮を爲し易し

其心事、何れに在るも此の如きは彼等に禍して又半島を不幸の深淵に陷るものといふべし。眞心より鮮人に同情し其政治の改革を熱望する者も、亦斯の若き暴戻を尤め專心此種の匪擧を根絶することを期せざるべからず。然れども善政を望み改革を望み過去に其望を達すること能はざるを悲み、將來に之を得ざるべきを疑ひ、悄々前途の不安を感ずるは蓋し最大多數の鮮人の心理狀態なるべし。新政の局に當る總督は信を重じ、約を履み、彼等鮮人をして多年の暗界を出で丶陽光を仰ぐの感を生ぜしめ、以て凝結せる疑念を消散せしむべし。彼等は李朝以來永く暴政の下に苦めり、飢ゑたる者は食を爲し易く、渇ける者は飮を爲し易しとは孟軻氏が吾等に告ぐる所なり。今にして寬大自由公正信義の政治を行はゞ、鮮人は飢者の良肉を得、渇者の清泉に會ふが如くならん。惟ふに世界に治め易きは永く溫情に飢ゑたる半島の新領土なるべし、此の如くにして多數の鮮人悅服せば、潛在する匪徒も孤立して其反抗力を用るの餘地無かるべく、外間の物議も亦隨つて自ら消散すべし。是れ吾等が新政の成功として切に期待する所なり。若し境遇が生じたる少數暴人の暴擧を怒りて一般の鮮人を猜疑し、徒に探偵に依賴し特に警察を偏信し、永く日鮮人の間を疎隔せば終に半島綏撫の功を奏すること能はざるべし。吾等は誠意を以て日鮮人に勸告す。今の時を機として過去一切の記憶感情を掃絶し、將來の改正を徹底的に實行し、以て日韓併合當時の盟約を正當眞實に擧ぐることに協同努力せよ。是れ半島の平和進步にして、又日鮮人の幸福なるべきを信ず。

□宣教師團の決議を見よ

本年八月中信州輕井澤に開きたる第十六回在日本宣教師同盟會に於て英國カナダ及米合衆國宣教師代表者は全會一致を以て左の如く決議したり以て彼等の冀望如何を見るに足るべし

・日本宣教師同盟會は朝鮮に於ける過般の騷擾に關し、左の宣言を爲すの已むを得ざるを感ず。

吾人は親しく日本を知り且多年日本の法律の下に在りて、正義と自由との幸福及び生命財產の十分なる保護を受たるが故に、朝鮮に於ける過般の騷擾鎭壓に際し、日本政府の憲兵及び警官が、朝鮮に加へたる非人道的殘虐暴行の通知が初めて吾人の耳に達したる時、吾人は其事實を信ずるに甚困難なることを感じたりき。吾人は是等の通知に接し殆ど言語を以て表はし得ざる程に驚きたり、然れども遂に是等の通知が大體に於て事實なること即ち朝鮮人が不公平にして而も不必要なる苦痛を受けしことを信ぜざるを得ざるに至れり。

現に日本の內地を支配する所の文化主義及び日本國民

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

に横溢せる友誼的精神と、絶對に相容れざる粗暴及び殘虐を、朝鮮の統治者が早く排除したらんには、朝鮮人は幸にして其れより受けたる所の苦痛を被らざりしならん。

吾人は日本帝國政府の寛大なる目的に對して、過去に於けるが如く今日も尚信頼せり。日本の統治に於ける帝國政府の公平にして人道的なる原則は、日本國内に居住する吾人にも、全世界にも明に知れ渡れり。吾人は帝國政府が其勢力の及ぶ範圍に於て、あらゆる改正を施さんが爲めに確乎たる目的を有することを信ず。吾人は又日本國民が、文化に對する熱情を有することを證明す。この熱情は、國民の心を刺戟するところの大原動力となり、開國以來、六十年の間に於て斯の如き一般的進歩を來したり。

吾人は朝鮮が、日本政府の權力の下に置かれたる以來彼地に於て多く其改善の行はれたるを喜ぶ。吾人は朝鮮人の過去を辯護せんとするものにあらず、更に朝鮮に於けるが如き統治には、當然附隨する困難を無視するものにあらず。

然れども過般の騷擾に於て、殘酷にして不當なる苦痛を受けたる朝鮮人に對し、吾人は明白に吾人の僞らざる同情を言明せんと欲す。更に吾人は朝鮮に於ける局面の實質的永久的改善を目的とする手段に對し、道德的援助を與へんことを冀望す。吾人が此宣言を爲す主なる理由はこゝに在り。吾人は殊に左の如き言明を爲さゞるを得ず。

第一、朝鮮に於ける統治が一層公平に且人道的となり出來得る限り差別的待遇を除去し、世界何處に於ても吾人の冀望する經濟的發達に對し、朝鮮人にも同一の機會を與ふること。

第二、朝鮮人は何等の妨害又は探偵警官の干涉なく、人類の生活及び進歩の根柢たるべき信仰の自由を享有すべきこと。

第三、朝鮮人をして十分に無差別的に近代的敎育の利益を享受すべき手段を得せしむること。

最近迄は以上述べたる朝鮮現狀に關し、日本に於ける有識者間の輿論として當然起るべく豫期せられたる忌憚なき抗議を聞かざりしと雖、昨今朝鮮事件に關して努力を惜まざる日本人の數が増加しつゝあることを見るは、吾人の尤も滿足する所なりとす。吾人は朝鮮問題が日本の新聞紙に於て公然論議せらるゝに至りたること及び日本の有志家が改革運動を指導しつゝあることによりて大に意を強くする所なり。吾人が斯の如く社會に訴へんとする所以のものは、之によりて聊かにても朝鮮に於ける改革の事業に貢献せんことを冀望するが故なり。吾人が日本に對して有する敬意と愛情と、最高なる人類幸福の境遇と、永久的改善の完成とに對する日本國民の冀望と努力とに、全心全力を以て協同一致せんとする吾人の願望に刺戟され、吾人は茲に此宣言を爲すに至れり。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

特に鮮人に告ぐ

□半島を禍するの罪最大なり

故伊藤公は、文治派の代表的政治家なり。其統監の任を受くるや、明治大帝の聖旨に謹遵して以て進步の政策を施し、半島に自由の利澤を受けしめて、以て文明の域に進めんことを期したり。然るに一部の鮮人公の志を解せず、刺客公を斃して其反動を招き、之が爲めに半島武斷政治の下に立つこと十餘年、是れ日鮮の不幸にして識者の痛惜長嘆する所なり。今や時機一轉健全の國論痛く過去の政治を尤め、改革の曉光暗界に閃きて大詔の煥發となり、總督の訓旨も亦鮮人の枉屈を伸ぶべき冀望を生ぜり。鮮人宜く總督に向て大詔の謹遵を請ひ訓旨の履行を責むべし。是れ半島復活の唯一最善の方法なり。之を思はずして擲彈の暴徒を出すに至れるは、是れ當に伊藤公に對するの過擧を再演せんとする者、半島を禍するの罪之より大なるは無し。思慮あるの鮮人須らく三思警省し、斷じて邪徑に入ると勿れ。

□言論を聞くは善政の第一義

新總督京城に入るの日、兇徒擲彈の奇變を現出し。半島驚愕して其報遠近に傳はり、木浦新報、光州日報の二社は其號外を發行したるに、全羅南道知事宮木某之を以て、治安妨害となし發賣禁止を命じたりと云ふ。此一事如何に沒分曉官僚が、多年治安妨害の四字を濫用して以て上下の情を疎隔し彼等が民言を聞くの道を絶ちたるを知るに足るべし。擲彈の變は萬衆俱瞻の事實なり、電報は之を遠方に傳へ內外の新聞爭ふて之を報ぜり、木浦、光州の二新報社が之を報ずるに於て何の奇異あらんや。此變なきに之れ有りとして報ずるは是れ訛言衆を擾るもの、之を治安に害ありと解釋することを得ん。現實の異變を報ずるは新聞當然の務なり。何の尤むべき理由あらんや。從來半島の政治は有を無とし、虛を實とし百廢擧り治績洽きを誇らんと欲し、努めて平和無事を裝ひたり。之が爲めに、一般官吏をして一切の言論眞實の報道を制壓するの常習に狃れしめ、其痼癖終に此非常識の擧を敢てするに至れり。吾等豈一の宮木某を尤めんや、今回の改革に於て斷然此弊習を打破らざる可からず、强壓の政治行はるゝこと十餘年、人民口ありて言ふ能はず耳ありて聞く能はず其結果官僚は驕慢とならん。行政は廢頹せん。社會は幽鬱とならん。當局は知るべき事情を知らざりしならん。本年三月の騷擾は畢竟此政弊鬱積の破裂に外ならず、古人は諫皷を備へ謗木を立て以て民言を聞かんとせり、新聞雜誌は現代の諫皷謗木なり、高きに居て卑きに聽くの利之によりて收むるを得ん。言論の自由を認むるは是れ善政の第一義なり。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

刻下の二大問題

廓清會長　島田三郎

一、對支問題を論ず

□山東問題に非ず青島問題也

世界の變化に際して我國にも一大變動を來し、種々の問題が各方面に續出しつゝあるが、就中最も緊急にして又重要なるもの二ある。對支問題、及び食料問題――廣く云へば物價問題――である。此二つは共に誠實に觀察して速に適當の斷案を下さなければならぬ。

何れの問題を觀察するにも今日は正確なる材料を得るの困難がある。其の根本原因は、政府が事實を秘密にして其の眞相を國民に知らしめざる一大缺點より來るのである。對外問題に至つては殊に其弊の大なるを感ずる。

支那問題とは、差向き青島問題である。我等は先づ此名儀を嚴格に論定する必要があると思ふ。此點に於て支那人の用語と日本識者の用語と廣狹の差別がある。支那人は山東問題と稱して山東省全體を日本が支配するかの如き感覺を聞く人に與へてゐる。之が爲め問題を甚く紛糾せしめつゝあるは最も遺憾である。見よ米國の上院議員の或る者は支那人の用語を其まゝ丸呑にして、其の議論にも山東全體のことを論じてゐるではないか。是れ我國に取つて極めて不利益なるはいふ迄もない。山東は人も知る如く昔齊魯の國で、支那古史を知る者は、此地が文王武王周公の事業の區域であり、太公望の封ぜられた地なるを知るであらう。其の地積は殆んど我國の本土に匹敵するの廣さを有するのである。然るに青島は其海角の一小地點で、其港が膠州灣であるから、武藏の江戸や攝津の大阪とも比較

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

にならぬ日本の横濱神戸といふが如き地境に過ぎぬ。之を膠州灣處分の問題と云はず山東問題と稱へて人の耳を聳かす誇大の名稱を用ゐるは、支那國民の漠然たる疎漏の用語と解すべき單純のものにあらず、這裡また一種の政略を含めるに想到すべきである。

日本が山東を占領して、支那の大陸を支配する根據地にてもするが如く説明し、日本の野心圖る可からずとの斷案を下し、聽く者をして如何にも日本は侵略の手を下さんとするが如く想像せしむるは支那の態度である。之を書生論とし想像論として聽けば、如何にも支那流の文學的語調の議論として興趣を覺えしむるのであるが、實地の問題として誠實に第三者をして考へしむるには、人の感覺を支配するに巧妙で、支那側に有益ならしめて日本を不利の地に立たしむるの用語と考へねばならぬ。吾等は何故我が政府が、此問題を適當に解決すべく先づ事實を世に知らしむるの手段を採らぬであらうかを疑ふ。事玆に至つて公平に評すれば此の論戰に、支那人は巧妙であり、日本當局は拙劣であつた。

□日支の參戰と青島の關係

我が帝國は參戰の始めに當り、獨逸に對する通牒に於て帝國の意思を世界に宣明して居る。青島を支那に返還するの意思は實に明白である。獨逸が青島を占領して居るのは東洋の平和に危險であるから、速に撤退して支那に還地せんことを望む、此の意味に於て日本に引渡せといふて居る。獨逸が此請求に應じて日本をして支那に還地せしむることを承諾したら日本は青島に出兵の擧はなかつたてあらう。處が獨逸は之に對して何等の同答をしなかつた。此の期限の盡きた時、日本は兵を用ひたのである。此歷史を知らば日本が始めより彼の土を占領するの意思あるに非ずして、支那に返還を望んだのであり、止むを得ずして兵火の間に日本の手に收めたるを認め得可きである。當時支那の形勢は如何てあつたか、我陸兵を正面から此の租借地に直接入れることは用兵上不便であるから、支那の土地を通過する事を要した、支那は之れを承諾して我をして兵を用ひしめた。

獨逸に橫領せられて無言て甘んじて居た支那は、日本の手に依て其地が支那の有となるべき順序となつた。支那は內部の困難から對獨の方針を定めず、日本が聯合國と共に參戰を勸告しても容易に決しなかつた。戰爭の初期に於て獨逸の攻擊的勢が如何にも華々しかつたから、聯合國勝つか獨逸勝つか暫く形勢を觀望するが得策だと思ふたと推察すべき理由がある。斯くて支那は容易に參戰の勸告に應ぜずして、義和團の賠償金を延期してくれ、海關稅率を上げてくれと種々の要求をなし、殆んど商人が利益勘定の懸引をなすが如き有樣を以て、始めて參戰を承諾したのである。けれども事實に於て一兵を出し隻艦を派したるに非す、唯獨人を敵國人として待遇する外參戰の事實はなかつた。或は支那の人夫を歐州に出したと云ふが、これは賃金を以て雇傭せしめたのである。之には遉の支那人も異論なき正味の眞相と信ずる。

□日支條約と米國の態度

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

・其後日支の間に條約が結ばれた。それは大體に於て前の我宣言の趣意を事實に明白にしたに過ぎぬ。戰爭終る時日獨の平和條約成立して、其條項により租借地が一旦日本に歸したら之を支那に返還する。但し獨逸の財產に屬する物は別の處分て、返還の中には這入らぬ。勿論之れは支那のものではなく、獨逸の物を取つたのだから異論のない筈である。但鐵道は獨逸の租借地外に延長してゐるし、鐵道は獨逸のもので土地は支那のものである、鑛山森林も其通りで地上の物は獨逸の有であるから支那と特別の交渉を遂げて處分する事とし、其後の日支條約で鐵道は日支間に於て共同經營にすべく決定し港は商港とし、日本が專管居留地を設け其他は一切支那に返還するといふにあつた。

以上の事實を公平に見ば、多くの不足が支那にあるべき道理はない。然るに支那は日本が獨逸から得たものを返さぬとてもいふかの如く議論を立てゝゐる。英佛の二國は日支間の此條約は承認して居るのである。特に秘密を要する程のことでもないから、聯合軍として仲間たる英佛の承諾を得ておいたのである。米合衆國は其後に參戰したから、日本は英佛と同時に米國の承諾を求める手續きを爲さず、而して米國は支那から之れを聞くの順序となつたのである。

講和會議の席上、豫て支那の委員は胸中にその計劃が熟して居たので突然日本の手を經ずして獨逸から返還を受けんとの立論をなした。而して是には正味の事實よりも種々なる形容の詞を附加した。此が支那人得意の壇場である。言辭文章の華麗にして人の感情を支配するのは支那修辭文學の長所である。加ふるに彼は、日本が獨逸臭味を帶びて、軍國主義國たる疑(是れは確に從來日本の軍閥が帝國に與へたる一大不利で又缺點である)を有するに利用し、此點に極力形容の詞を誇大にし、聽く者をして如何にも獨逸の支那に爲さんとせし處を日本が支那に爲さんとするが如く感ぜしめた。勝を言論に制して自國本位の點から云へば、彼の所爲は極めて巧妙なる活動であつた。

□日本の驕慢と支那の活躍

日本は戰禍の中心より遠ざかつて勞少くして其勞よりも餘分の効果を收めた。同時に貿易の關係に於て甚だ有利であつた。識者は此點に於て屢々國人に警告を與へた。我等は五年間終始日本の多數の人及び當局者が世界の形勢を深切に視察するの道を取らずして、一時の功果と貿易の有利とに眩惑し、成金を跋扈せしめ、外交方針は煮え切らずして世界の進步に寄與するの識見なく、過去の獨逸の赫々たる外觀の成績に眩惑せられ、一部少數の人乍併政治に傳統の權力を有する人々の心情を正直に分析すれば。獨逸崇拜の觀念もあつた人々と、多數國民の誇大妄想心とは、日本の外に現はるゝ形勢を世界に誤認せしめた點もあつた。外交は唯辭令と形式とに馴れた人が局に當つて、過去の經驗はあらんも新しき空氣を呼吸して變化に處するの器量はない。公爵や子爵の肩書があるので、內地では紙幣の如く通用するが、外國では金貨でなければ通用せぬのに、是等の肩書で間に合ふと思へる時代錯誤の人が、日本は直接東洋の指導者で青島の事は條約で定まつて

ゐるから、心を勞することはないと何の準備もなく、支那の委員が嘗て米國へ留學して支那固有の言論文章の特能を發揮して、軍國主義を極度嫌ひな米國の人々に說き込み種々畫策する處あつたのに何の注意も拂はず、支那の委員が日本に立寄つて普通の儀式的應酬もせずに立去つた此の異常の擧動にも注目する處がなかつた。斯の如く平生支那の政治家を輕んずる驕傲と、世界の大勢を知らざる怠慢とは、戰はざる以前既に種々なる弱點を有つてゐたと評してよい。

□巴里に於ける我委員の失敗

果然、我講和委員は、支那委員の日本の手を經ずして膠州灣を獨逸から支那に直接返還することを要求するの發言に吃驚した。委員會の秘密は我等にも知られないが、日本は他の抗辯もあつたらうけれども、英佛の承諾を根據として抗辯したと想像される。併し先入主となるの諺に洩れず、米國の委員は大に支那の提言に耳を傾けた。日本の人は一切米國の偏頗な擧動といふが、彼等をして斯くならしめた心理狀態を分析すれば、支那の提言を詳密に且つ先入的に注入せられた米國人、平生日本に對して軍國主義の嫌疑を抱いてゐる米國人が、先づ日本の勢力を支那に擴張せしめざらんとするは勢ひではないか。斯くて日本は五大國の一として他國を導くべき大株主の列を離れて、名のみの參戰で事實なき支那と原被の形となつて、四大國委員の判斷を乞ふ如き位置となつた。此の最初の手合せに於て日本は勝つ可き訴訟を一轉して、殆んど敗者の位置に立つに至つたは甚だ遺憾である。

幸にしてヒューメ問題で、伊太利の委員が脫退し聯盟に加はらぬ如き擧動をなした爲めに、日英佛の條約文によつて僅に支那の提言を擊退し得たので、自力の勝利に非ずして他力の僥倖の如き觀で、巴里會議だけは治まつた。此時に我が當局は之で勝利だと云つて、新聞紙に勝利の吹聽をなさしめたが、加ふるに米國の偏頗云々と吹聽して自己の不手際を反省する擧は何處にも見ることを得なかつた。

□米國上院の態度と國民の成算

以上は巴里に於ける經過であるが、事は決して是にて治まらぬ。支那の委員は一時不利益の位置に立つた。其主張は破れた。支那本國政府としては餘り之にも苦痛を感ぜない程事無かれ主義の態度であつたらうが、政府を苦しめんとする南方の政治家は、此時こそ北方を打つの機會なりとして痛く此の敗を咎めた。巴里の支那委員は再度の戰を挑んだ。それは支那は平和條約にも國際聯盟にも調印せぬといふのである。併しこは餘り大した威赫ではない。支那は獨逸と交戰狀態の儘にて、列國が調印を終らば支那は取殘されて却て其立場を失ふのみであつて、別に其爲めに日本が不便を感ずることはない。日本は始めから支那に返還するといふ事を決してゐるから、相當の手續を經て專管居留地を置き、鐵道を共同經營にすればそれ迄の事だから、靜に成行を見てゐて差支ない。乍併米國には尙ほ支那に同情して止まざる人がある。眞相を明かにすれば其熱度を低くし得るのであるが、日本外交家の働きが遲鈍の爲め、支那の一種の政治家は大に活動して日

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

本が支那を併呑する如き畏懼心を支那國内に傳播するに努めた。

米國の上院の共和黨議員はウキルソン氏の聯盟案に反對を唱へ、ウ氏を威赫した。ウ氏は如何なる程度でも一歩でも平和の世界に進めたいといふ極めて熱烈なる國際聯盟の主張者であるから、聯盟に上院が調印を與へぬことはウ氏の最も憂ふる處である。而して聯盟と講和條約とは不可分の一案であるから、講和條約に調印せぬことは卽ち聯盟を成立せしめぬこととなる。共和黨の連中は聯盟案の修正とか保留とか色々言て居るが、此點に於ては既に讓歩せぬだけの決心でウ氏は上院の反對は國民多數の賛成によつて破るべく、その活路ある胸算は熟してゐるであらう。無論共和黨の人氣取り、帝國主義的色彩を帶びた反對は、米國に澎湃たる勢を有するが、之に對して勞働者及び新に投票權を得た婦人、其他新思想に觸れた青年、一言すれば新しき米國を動かすべき勢力は、聯盟案に大體に於て不同意はないと思はるゝから、此點に於てはウ氏の方に勝ち目がある。茲に於て聯盟案に苦情をつけてゐた連中は、支那問題を捉へ平和條約に故障をつけた。之が日支の關係に新しき形勢を生じた一原因である。

□日本には外交なき乎

巴里に在る支那委員は茲て元氣を生じた。勿論米國に留學し米國に多くの親友を有ち、特に米國に親まんとする心を以て巴里より本國へ打合せ内外呼應して全力をプロパガンダに努めて居たる支那の委員は、此形勢に再び機會を捉へて呼號した。其聲はワシントンに反響した、共和黨のウ氏を苦しめんとする人の口より支那の要求が傳言せられた。其論旨は、新聞の報告や電報によつて見ると事實より遠いのであるが、聲は極めて大なるものである。

共和黨議員の演説中、支那の山東を日本が支配する樣になれば、日本の侵略政策は支那の大陸に伸びる、支那の主權は傷けられるといふ誇大な聲を揚げてゐる。前に述ぶるが如く山東と青島とは甚しき大小の差がある。橫濱港と日本帝國と別物である如く、神戸市と日本帝國と異る如きものなるに之を混同するのが第一の間違である。殊に日本は還さぬとは云はぬ。唯返すのに條約もあり支那も承認して居るから其通りにしようといふ迄である。獨逸から直接取らなければ還らぬといふのではない。事實は既定のことて、日本が其通り實行するのに何の議論もない。况や山東の一小地點を山東その物と見、支那の主權を云々するが如きは本氣の沙汰とは思はれぬ。之れを默つて聞き公然内外に揚言せぬ日本の當局は更に分らないてはない乎。外交は讓るべきは讓るが宜い駁すべきは駁するが宜い。磊々落々秘密を破つた新外交の精神を發揮し濠洲委員の如く伊國委員の如く支那の委員の如く勇氣を揮ふて活動と宣傳とに努めたら、是等のことは何の故障もなく解決さるべきてある。處が日本は外交なしの外交であるから如斯場合に殆んど見るにたへぬ失敗を取る。のみならず日本が沈默無言て七千人定限の西比利亞出兵が何時の間にか二個師團となる如き奇態を演ずるから軍國主義の苦情を附けらるゝも亦其間に不信用といふ一脉の源流がないこともない

のである。

□奇怪なる專管居留地の放棄

更に最近に至つて一種の曲折から、とう〳〵當局が嘗て宣明した專管居留地の主張を捨てゝ、共同居留地によるとの意味を内田外相から聞くことゝなつた。之は我等の實に不可解とする處である。外相は專管居留地よりも共同居留地の方が利益であると思ふ、よつて考案中だといふた。併し是は何つの間にか共同居留地に決定したので斷じて未決考案中のものではないと世間は理解してゐる。

果して然らば何故巴里に於て吾委員が面目にかけて專管說を固執したのであるか。今日共同を利益と考へるなら何が故に巴里の委員が聯盟脱退とまで覺悟して抗辯したのである歟斯かる手間をかけずして即刻に共同の讓歩をしなかつたか。而も日本の委員は一々本國の指令を待つと聞いてゐる。然らば本國政府も當時固き專管說であつたに相違ない。處が種々の曲折を經て支那の放言と米國の上院の議論とに對し之れ迄專管でやり通し、而も巴里の會議では之を唯一の日本の勝利だと宣言したものを忽然棄てんとするのは、眞に奇怪千萬と謂ふべきである。

支那人と米國人との言論の中には、支那の主權を保全する云々と云つてゐる。何か斯く云へば大さうらしいが實は全く無意味である。專管ならば何故主權を傷け共同ならば何故傷けないのであるか。專管とは日本が特別の居留地を持つて領事が其管内の自治的世話をするのである。共同は列國が共同し其各領事が又共同して自治をなすのであるから、支那から云へば同一である。其處に自治を許して同地區内の事をやらせる對手が一國であるも數國であるも列國間の居留地制に區別はあるが、支那側からは外國に自治の居留地を許諾するのである。支那の主權に對する關係は二者同一である。更に膠州灣の自治は支那の主權に害があるが、漢口天津のそれは害がないといふ乎。米國も其の仲間である。漢口天津の專管居留地も支那の主權に害があるから除かんとするのである乎、又獨逸から直接受取れば支那の主權は全いが、日本から受取れば全くないとは何の意味である乎。全體米國の共和黨の首領株は是等の事實を知つて此言をなすのであるか、知らずになすのであらうか。

我等は心底に於て日支親善を切望してゐるから、事實に違ひがなければ其何れたるを深く問はない。乍併道理なき過大の放言をなすのは我等の卑む處である。我等は日本人であるが、道理を曲げても日本の主張を通したいとの卑心は持たぬ好辭を設けて私利を逞くすることは自他共に不可である。日本が膠州灣を山東と同一にして、不可解の主權論を提出し、日本が不道理をやるから支那が其不道理を破るのだといふが如きは、其の不誠實を咎めなければならぬ。

□支那政治家を放縱ならしめし罪

世人は未だウィルソン氏の眞意を諒解せぬ者が多い様である。我等は彼に對して敬意を拂ふに躊躇しない。内には國際問題を政黨問題とせんとする共和黨の野心家があり、外には獨

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

逸の脅威を歴史的に恐れて且獨逸の慘虐に憤りを含んでゐる佛伊諸國の不同意ありしに拘らず講和條約と國際聯盟とを不可分のものとし又勞働問題を此中に入れて國際聯盟を成立せしめたるウ氏の努力には、滿腔の感謝を拂ふ者である。假令聯盟が不充分なればとて、後來に對する進歩の一大段階となり、此中から自進自改の活力を生じて、大に平和の氣風を世界に傳播するの歴史的一大革新の事蹟であるといふ事に就ては、ウ氏が百難を排し内外の反對を物ともせずしてあれ程迄に仕上げたる功勞は至大であることを認めざるを得ない。米國上院共和黨の態度に對して吾等は遠慮なく非難する者であるが、それと共に日本の政府が、米國政治家の妄誕を論破することに努めざる其怯懦、其無策、國家の爲めに其失敗を糾彈せざるを得ない。

若しそれ日本が支那の要求に應じて共同居留地に改めたから、之によりて日支親善が行はれるなど分疏する者あらば、吾等は其無識を哂はなければならぬ。此一擧に於て如何に支那の政治家の心を放縱ならしめたか、日本は道理不道理に拘らず、威嚇すれば屈するものである。日本從來の支那に對する態度は殆んど根據なきものであつた。今より以後强硬に應酬すれば理非に拘らず何事でも行はれる、又東洋に志ある米國の勢力を後楯に取れば、日本の故障の如きは直に消滅し去るのであるとの驕慢心を生ぜしめたであらう。我等は專管居留地でも共同居留地でも區劃の取り方に付て別に議論はせぬが、其れが此結果に至るの徑路の支離滅裂に反對するのである。世人は物質の多寡を第一にするが、我等は之を第二第三とする。其條理不條理を明白にして條理を踐むべきを第一義とするのである。一國として威嚇せられて條理なき讓歩を爲すは他の輕侮を受け、道理ある主張も通らぬ勢を馴致するを最も恐る可しとするのである。

二、物價問題を論ず

□物價騰貴と政府は自殺的經路

社會の萬事一定の法則がある。人世は複雜であるから自由意思に動く人間の社會に於て表面には其現象に規律なく法則なきが如く見えるが、決して左樣ではない。やはり原因結果の法則に支配されて居ることは物質界と同一である。經濟界の成立も社會學の成立も此規則の説明に過ぎぬ。唯人世は餘りに複雜なるが爲め、或るものを捉ふるも或るものを殘すから、原因もなく結果もなき樣に見えるのである。乍併此の如きは畢竟研究の不足に因るのであつて法則は依然として存在

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

する。斯く觀じ來れば物價の高低に確實の原因なきが如く觀じて其日々を間に合せてゐるは、甚危險と言はなければならぬ。世界のことは暫く措き、目前のことは我社會の物價の騰貴で、種々の變化を現はし、間接に平和を脅してゐる。殊に差向き是非とも早く療治せねばならぬのは、現在の有樣にては中等社會の消滅せんとすることである。

政府は此の物價の暴騰を以て世界の趨勢であるといふ。それも一理はあるが趨勢だとて其儘に見過すべきではない。我より物價の高い國もあるが低い國もある。佛蘭西は我よりも高いが、英米は我よりも低い。其の上人爲を以て益々釣上げらるゝ事實があらば之を制する處なくてはならぬ。特に生活の爲めの必需品を人爲を以て低めるは政治的要務である。如何に價高くとも斷じて不足を告げぬといふ米國でも、物價を低壓して人心の不安を慰せねばならぬとその當局者は急言喝論し其實施に着手したではない乎。日本の物價は物によつて違ふけれども食糧の騰貴は約三倍である、低く積つて二倍半としても、之に對するだけの收入を增すことは斷じて出來ぬ。

或る會社が五六倍の配當をしたとて攻擊の中心となつてゐるが、之は特別の事情ある少數の事業に過ぎない。他は其れ程の利益がなくして、我國の當局者は傭使せらるゝ勞働者は擧つて增賃を要求して居る物價の高さは世界の趨勢なりとして、之を癒するの途は收入を增せばよいといふて居るが、是程無責任な放言はない。

□生活難の筆頭は政府自身也

近頃各地にストライキが起つて五割增せといふが、增せる處と增せぬ處とある。彼の新聞社職工も五割增を要求したけれども、新聞社に五割增の餘地があるとは思はれぬ。或社は之に堪え得るかも知れぬが多數は現在の儘でも紙は高し、インキは高し、光力は高し、動力は高し、鉛は高し、此上賃銀を五割增すとなればそれは職工だけでは濟まぬ。編輯員にも事務員にも配達人にも及ぶのだから、之れは應ぜられないのが事實であつて、此の內容を打明けたら職工も請求する勇氣が挫けたであらう。こは唯に新聞社の事實たるに止まらぬ。社會の各方面決して一齊に增給の出來るとは言はれない。商賣人の方は高い物を買つて高く賣るから先づ差支はないといふ者がある。左れど生活必要品は別として人々が儉約をすれば比較的不必要品は賣れぬ。農家も米價が高い故豐かだといふが多數さうとは言はれぬ。小作人は作米を地主に納め殘餘は自ら食する位の者が最多數である。不足米を地主から前借する者もある。凡ての必要品は皆高いのである。特に肥料の高價なるは小作人の一大苦痛である。豐といふのは畢竟地主のことで、大地主は米價の高さ爲めに其低時の三分一の米を賣れば地租を完納することが出來るから地租が三分二減じた割合になる地方に貯蓄米が多くあつて都市に囘米が少いのは之が爲めである。大地主は樂であらうが、農民全體としては寧ろ苦痛であると見ねばならぬ。その中で最も苦しむ者は誰かと言へば、好で物價を釣上げて放慢に付して居る政府自身である。政府は物品を消費する大機關である。其最大の者は陸軍で、食糧被服用具軍器悉く高價である。文部省の費額の多

きは給料て、且つ高等の教育機關には種々の機械藥劑等を要する。是等は皆支拂ふもののみである。司法省の凡ゆる裁判所も全部給料の支拂である。海軍は軍艦軍器を初め、給料も増加する、遞信省も鐵道院も亦皆然りて、數へ來れば損の筆頭は確かに政府である。次に苦しむ者は世間から徒手坐食してゐると非難せられてゐる世襲財産の華族である。多くの土地其他の不動産を有するものは其騰貴によつて富を増加したであらう、併是れは少數である。多數の舊大名や舊公卿や新華族や皆三分の一に減じたであらう。近時履歴ある舊華族が頻りに先祖傳來の寶物を賣るのは、確に家政整理の道を歩んでゐると解釋して差支ない。けれど是等は儉約すれば生活に悩む程ではあるまい。困つても遊んでゐるんだから仕方がない。新に職業を求めて働くがよいのである。

□タマニー團の跋扈と小兒の腦膜炎

稼ぎつゝ悩んでゐる者は所謂政府の役人と民間の事務的給料取と各種の智識的職業者である。其會社に利益があり重役が公平で利益を均霑せしむる處は別だが、全體としては洋服細民の新熟語に知らるゝ如く先づ給金取りは最も苦しい人々である。併し社會の安寧進歩から見れば此の給料取りが大切な部分であつて、此の中流階級が消滅して上下二流の極端の對立となれば社會は危險である。

世間では勞働者と云へば身體の勞働者だと思ふてゐるが、心神を勞する者も身體を勞する者も均く勞働者である。教授辯護士醫師教育家文學者美術家等皆然りて、數へ來れば凡そ文化を補助して道徳的、智識的に社會を進歩せしむる者も悉く勞働者である。それが現今幸福を損じて甚しきは窮迫を告げてゐるのは確實である。

往年タマニー閣が紐育で勢力を振ひ、高き免許料を納めなくては氷屋の開店も出來ぬことゝした。其結果子供の脳膜炎を増加したといふことがあつた。生活費に逐はれる者は高價の氷を使ふことが出來ぬから、子供の病氣を増したのである。僅に氷の一事に就ても斯の如く社會の微妙鋭敏なる影響を生ずる。況んや社會全體が一切物品の高價より被る惡結果は計り知られない。教育も衰へる、情愛も縮まる、健康も衰へる、凡てが人世を壓迫せらるゝ。殊に今日は慈善事業が最も苦しんてゐるのである。我等の知る處では孤兒院の如き慈善病院の如き、豫約しても寄附金が集まらず、集まつても決して増さないのに、消費品が上つて窮乏を告げてゐる。極少數の富者は事情を聞いて増額するかも知れぬが、中等階級から納める定額を基礎とせる慈善事業の困難は察するに難くない、氷の價が上つて脳膜炎の多くなつたことを思へば、聲を揚げざる悲しき境遇の者が如何に苦しんでゐるであらうか。此外間接に政府の人も與り知らねばならぬ處の者がある。それは罷職の文武官で、彼等は在職の者の如く二割も三割も上げられず、元の儘である。癈兵は如何、其困苦思ひやらるゝではないか軍人後援會の出入簿を一見したら其形勢は明證せられやう

□物價騰貴と世界經濟

今は幸か不幸か戰後の始末が未だつかぬ。各國生産の機關

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

なほ整理されぬ故、皆公債の重きを擔ひ、これから租税も増さねばならぬから、或時期迄は日本の貿易も現在の形勢に立つが永く持續することは斷じて出來ない。且つ國際聯盟に組入られて勞働問題の集會があれば、日本も其仲間として時間にも給料にも大體世界的つき合ひをせねばならぬこととなるから、日本の前途に變化が起る。長時間就業する慣習と、列國より低き給料であつた日本が、時間を縮め勞銀を高くして他國の如き能率と收益の増額を得るであらうか。甚だ覺束ないと思ふ。又凡ての資本家は勞働者に對して果してなほ業を營むに堪え得るかどうか、世界列國が財政を整理して新しき氣勢を奮ふて其國力恢復の爲め生産に努力するとなつたら、日本は果して今迄の貿易額を維持するを得るや否や。若し日本の必需品、生活費用が安價であれば産出の物品も安價に出來て、競争に強味を覺えるが、今の如く物價は米國よりも高く、而も他の狀態に何等米國より強味を有たぬ日本が、今の高價の物品を消費して競争に堪え得るか、前途甚だ氣遣しい。

氣候には夏あり冬あり、世界には變體の時に暖を覺え、整頓の時に寒を感ずるとがある。夏を送りて秋來り、其間に馴れて冬の寒さを凌ぎ得るが、今日は九十度の熱度を覺え一夜が明けて明日直に三十五六度の寒冷に出逢はゞ、健康の保ち難きと同樣、突然貿易の寒冷に出逢ふたら、其時は上下を擧げて大なる恐慌を感ずるであらう。今にして之に處するの覺悟があらねばならぬ。

□藏相の低能國民を癮者にす

杞人は天の落るを憂へたが、我等の憂は强ち杞人の憂でないと信ずる。何となれば我國一般物價の騰貴は單に世界高價の影響のみに非ずして、確に通貨の膨脹に由る。是れ高橋藏相を除いた天下の通論て、實業家の方からも通貨收縮必要の聲が揚つてゐる。始め高橋藏相は辯明しなかつたが、今日は心中安からずして説明を與へた。乍併其説は殆んど物になつてゐない。此人が日本財政の樞機にあるかと思ふと心細からざるを得ぬ。今日は彼も漸く通貨が原因たることだけは知るに到つたらしいが、但し之を減じたら不景氣が來るから減じないと云つてゐる。更に姑息の子供欺しのことを述べて公債を募つて云々と言つてゐる。其公債は一時物價を引下げるが、費途の定まつてゐる公債だから幾時ならず又世間に流出して物價は元に返るのである。矛盾であるとか矛盾でないとかいふが、彼れは公債云々と言ひ出すからには物價騰貴の原因を通貨の多きにあると自白してゐると同一ではないか。而かも其救治法は無効の者であるのは奇怪の至である。

斯くして居るのは丁度阿片に中毒した人が、阿片を減ずればよいといふ事を知る丈は知るとなつたが其量を減ずれば煩悶が起るから目前の煩悶を免れん爲め死ぬのを知つて喫する癮者の態度である。要するに過剰の通貨あるのは當局の認むる處ならば、此儘て居れば其行詰りになるとは必至の勢て阿片を續ければ續けるだけ患が深くなる癮者と同一の取扱をなす程亂暴な政府はない。今の如くして止まなければ國家は一樣に禍を受ける。其禍を受ける時にどうなるか、實に明言するに忍びないのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

日本將來の婦人問題（二）

廓清會副會長　安部磯雄

事が社會の問題となりつゝある、英國の如き婦人參政權の叫ばるゝに至つた理由の一つはこゝにあるのであつて、彼等は今回の戰時中に遂に其目的を達したのであるから、今後是等の問題に對して喜ぶべき實例を我等の前に提示するであらうと思ふ。

□政治上に於ける男女の平等

政治上に於ける婦人としての要求は極めて簡單明瞭であつて、卽ち參政の權利を獲得することである。換言すれば國會市會又は區會に於て議員選擧の權利を持つと云ふことである。政治を男子のみに任せて置いては、男女の同等など云ふことは到底望まれない。例へば前段に述べたる矯風會の離婚法改正の請願の如きは其好適例であつて、何時までたつても通過する見込はない。婦人又は婦人の代表者たる男子が出て、法律の制定する人とならねば駄目である。然るに日本の婦人は兎角遠慮がちであつて、殊に政治に對しては一層甚だしく、參政權などは尙ほ未だ早いと、婦人自身が云ふのである。而して基督敎の婦人までが斯う云ふ議論を吐くに至つては實に驚かざるを得ぬ。

（四）私生兒の場合に於ける女子の不幸

之れは現今の重大問題である。若き男女が戀愛關係に於て私生兒を生みたる場合、男子が何處までも責任を負へば問題はないが、男子が後を晦まし、若い女が之れを養はねばならぬ場合が多い。之れは實に慘酷なる事である。之れは何處の國でも法律の制裁がない。之を如何にすべきであらうか。之れに對する極めて公平な考へは法律に於て之れを保護し、政府は何處までも相手方たる男子を探し出して正式に結婚をなさしむる方法を講ぜねばならぬと云ふことである。而して男が若し之れを承諾せざる場合には、其男子に對して、二年若くは三年の處刑をなすべしと云ふのである。之れは確かに正當なる見解である。今日の法律に於て窃盜は罪せられ、其犯罪人が見付からぬ時は、警察は隨分苦心して之れを探し出すのである。泥棒さへもさうである、況んや以上の如き事をする男子は泥棒以上、心掛の惡き人間で、政府は夫れが見附からぬ時は、草を分けても夫れを探し出し、相當の處分をせねばならぬ筈である。之れが出來なければ法律上婦人は男子と同等になることは出來ないのである。歐米に於ては既に此の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

一體政治と云へば直に、鳩山春子女史のやうに選擧の運動でもする事の如くに思ふのが間違つて居る。あれも元より政治である。然しあればかりが政治ではない。投票權をもち、婦人の爲めに圖る男子を選出するのも亦政治である。余は春子女史のやり方には賛成である、最早子女の教育を終り家庭に係累なき婦人は出て、大に社會公共の爲に盡さねばならぬ。乍併忙しい人が自身の職分を抛つて選擧などに熱中することは婦人ばかりか、男子と雖も決して宜しくない。政治は自己の本職を投出ずとも出來る事である。例へば代議士なれば四年目に一回宛、選擧場に赴き自己の信ずる人物を投票して歸れば夫れてよい。之れに要する時間は僅に二三時間である。四年目に一度宛之れ丈けの時間を費したとて、何程家事に差閊へがあらうか。政治を選擧運動そのものと誤解してはならぬ。

抑も世界に於て婦人に參政權の賦與されたのは、米國アイオミング州が嚆矢てあつて、夫れは一八六九年てあつた。其後アイオミング州は婦人に參政權を與へて以來、種々の方面に好影響を齎しつゝあることを種々の事實問題を以て報告したので、米國の各州中、之れに倣ふもの多く、其數は今や十四州に及んてゐる。而して大統領ウイルソンは、今回佛國巴里より米國議會にメツセーヂを托して「婦人參政權は世界の大勢てある、されはよろしく現代世界の趨勢と婦人の要求とを洞察し、以て聰明なる措置に出てよ」と云つてゐる。米國に於ける婦人の政治的將來や蓋し刮目すべきものてあらう。英國政府は婦人參政權問題には反對てあつた。彼國當局者が如何に頑强に婦人參政運動者の要求を卻けたかは世人周知の事實である。然るに今回の戰爭中彼等の婦人の偉大なる實力を發見し、其戰時の努力に對しても之れを容るゝの正當なるを悟り、遂に婦人の參政權を承認し、六百萬の婦人が多年の志望を遂し選擧權を獲得するに至つたのである。獨逸は壓制主義軍閥政治の國として婦人の政治的權利の全然認められぬ國であつた。然るに今回の革命の結果、一擧にして一千八百萬人の婦人が選擧權を獲得したのてある。のみならず獨逸は婦人に被選權を與へ、現に五百名の代議士中三十六名の婦人代議士が選出されて居るのてあつて、此の急轉直下の勢は、歐洲に於て如何に婦人の要求の切實なるかを最も雄辯に語るものてある。

更に著しき實例は濠洲ニユージーランドてある濠洲及ニユージーランドに於ては國會議員も、州會議員も、市會議員も全部婦人に同等の權利を與へてゐる。而して其結果は極めてよい。婦人に參政權を與ふれば家庭の事を怠るとか、婦人の優さしみが無くなるとか、主人と妻とが議論をなし、意見が二ツに分れて一家の平和が保たれないとか云ふのが、婦人參政反對者の議論てあるが、ニユージーランドに於て參政權實施後十年、一英人が調査した結果を見れば、事實は明かに其然らざる所以を證明して居る。

「ニユージーランドは英國殖民地中最初に婦人に參政權を與へた所である、夫れは一八九三年て、ニユージーランドの丁年以上の婦女子は一般に選擧權を得た其數は十萬九千人てあつたが、同年十一月の第一回の總選擧には九萬人が投票をなした。而して男子は晝間多忙のため夜間選擧を行ひ、婦人は晝間靜肅に之れを行ふた。其後も總選擧毎に婦人は晝間之れを爲すのてあるが、極めて靜肅選擧場に向ひ、端然として投票をなし、決して見苦しいさまをしない。參政權を得ても衣服や態度に何等の變化もない。一家は多く同一人に投票し、決して夫婦が意見の衝突を來すべき憂はない。人々の云ふ所を聞くに婦人が參政權を獲得して以來家庭生活には興味が生じて來た。婦人は新聞の二面に目をさらし、社會公共の事に注意するやうになり、一家食卓上の話題が賑かにして、且つ有意義なるものとなつた。婦人參政權實施の結果は政治的方面よりも、寧ろ社會的方面に好結果を現はし、婦人は選擧の時よりも平日尊敬せられ、男女平等てふことが實際的方面から發達して來た。」云々。

之れはロンドン・クロニクル記者の觀察記てある。されば婦人が參政權を與へられたりとて、態度や風采が粗暴になるとか、家庭が荒されるとか、夫婦や親子に意見の衝突があるとか云ふことは杞憂に過ぎないのてある。之れが爲め、婦人は自家の天分を失はないのみか、却つて夫の趣味に共鳴し、夫と共に社會公共のことを談ずるの智識見聞を廣くして、一家は眞に意義あり活氣ある生活を爲すに至つたのである。

又アメリカの實例に徴して見るも、アメリカの婦人參政權實施諸州の其結果に於ける報告を見るに、參政權を許されたからとて婦人が我儘を働いたと云ふ例は一つもない。彼等によつて主張せられたことは第一に禁酒法、第二に子供の爲めの法律である。酒ほど婦人に苦痛を與ふるものはない。夫の飲酒のために、如何に世界中の婦人が苦しんでゐることであらう。されば、婦人が參政權を得るや必ず第一着に禁酒法の制定に努力するのである。之れは我ためよりも夫のため、子供のためである。次に子供のためには工場法を改正して、十四歳以下は工場に使用することは出來ない事にした。又若い婦人が手籠めにされたる場合、夫れが十五歳未滿であれば一も二もなく強姦罪に問はるゝのであるか、十五歳以上は罪が成立しないのである。この十五歳を「承諾年齡」と云ふのである。之れは甚だ不當であると云つて、婦人參政權を獲得したる州に於ては、十五歳を十八歳まで引上げた。斯くの如く婦人が參政權を獲得せる結果は自己本位でなく、夫のため、子供のため卽ち一般社會の改善のために盡力することゝなるのである。

斯くの如く、何れの國の實例に徴するも婦人をして政治上男子と均等の地位に立たしむると云ふことは一の害惡なくして、多くの利益ある事が明かである。而して米國は戰後愈々益々發展し、婦人參政權は全米に普く實施さるゝであらう。英國は既に之れを許し、獨逸又上述の形勢である。佛國は未だ確報に接せざるもこれまた平和と共に非常なる勢で女子が覺醒するであらう。之れは明かなる事であらうと思ふ。

□結論

以上は歐米に於ける婦人問題の形勢であるが、以下日本將來の婦人問題に就て述べたいと思ふ。

我國に於ても前に述べたる第一卽ち敎育上に於ける男女同等問題は、必ずや將來發達すべき見込みがあると信ずる。第二の經濟上に於ける同等は之れも早晩獲得せらるゝの日が來るであらう。第三、第四の法律上、政治上に於ける男女の同等と云ふ點になると、そこに種々様々の困難が横はつて居る。

そこで、如何にして我國民の蒙を啓き婦人の法律上政治上に於ける地位を向上せしむべきかと云ふに、之れは婦人自身の努力に待つの外はない。「果報は寢て待て」と云ふ態度では何時までも男子から虐げられて苦しんで居らねばならぬ。我等は婦人の應援者である、併し本人が眠つて居つては、如何に應援者が躍起となつても、問題は發展して來ないのである。然らば如何に我國今後の婦人は努力せねばならないであらうか。玆に於て問題は机上論を放れて實際問題に入つて來るのである。余は以下平素抱懷する所を開陳したい。

第一、思想上の開發が必要である

思想的方面から婦人を啓發し、自己の將來の運命を開くの準備をなさしむることは、法律上之れを壓迫することも出來ず又非難することも出來ない。故に婦人向上の機運を促進することは思想上から之れを動かして行くことが最も賢明にして、又有效なる方法である。男女の權利は全然異るものとの謬見を有する人はいざ知らず、苟くも多少、之れに就て疑義を有する人、どうにかせねばならぬと思ふ人は、思想的方面から指導する時は、其覺醒は期して待つべきである。而して此の男女同等と云ふことを明かに自覺する時は、之れを實現せねばやまざる自信と勇氣とを生ずるのである。而して信仰を得たる人が、其信の幸福を他に傳へざれば已まざる如く、其男女同權の幸福を宣傳せねばやまざる程に熱誠が湧いて來るのである。歐米の婦人參政權運動者は斯る人々である。

一度思想が動いて來れば次は實行の問題であるが、之れは

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

出來る人と、出來ない人とがある。年齢も相當に取り家庭の煩累なき人、家豊かにして家事を他に委ね得る人などは、自から進んで實際の運動に携はらねばならぬ。默つて居つては何時までたつても權利の獲得は出來ない。昔から人民が默つて居つて、王が人民に自由や權利を賦與したためしはない。人民が生命を賭して叫んで、やつと夫れ等のものは與へらるゝのである。又未だ曾て勞働者が默つて居るのに、資本家から勞働者のためになる事をするものでない。勞働者が一度團結して要求する所に初めて資本家が動くのである。婦人の男子同等の要求も亦斯くの如きもので、默して運動しないで居つて出來るものではないのである。歐米の婦人が參政權を得、又得んとしつゝある、光榮ある事業の裏面には實に血の出るやうな苦戰惡鬪があつた。歐米に於て然り、況んや日本の如き保守的の國に於ては猶更さう云ふ惡戰苦鬪を豫想せねばならないのである。故に實際活動の可能なる境遇にある婦人が先導者となりて思想の開發と實際の運動に從ふならば、我國の婦人問題もそこに解決の端緒を見出す事が出來ると思ふ。

第二、婦人の自重心に訴ふること

男子が女子と協同して家庭を作る、此事から見て、兩者は確かに同等である、どうして斯く同等なるものに優劣が生じたか。之れは今日の勞働問題にも適用が出來る、資本家は金を出し、勞働者は力を出す、兩者は同等である。更に之を詳言すれば、土地は母、勞力は父である。此父なる力と、母なる土地から子供なる資本を産んだ。而して今日は子なる資本は母（土地）と一所になつて、父（勞力）を虐めてゐる。少くとも對等の地位にあるべき勞働者資本家に、優劣を生じてゐる。此の女子對男子、勞働者對資本家の優劣を生じたる原因は何處にあるか。之れは後者が、金を有し、前者が夫れに支持せられて居る所にあるやうである。例へば夫は外に出てて稼ぎ、妻は夫れを受け取つて家事をまかなふ。そこに優劣の觀念を生ずる弱點があるやうである。つまる所、一方は競爭せねばならぬ地位であり、他の一方は競爭させ得る地位である。勞働者なれば、資本家から給金を貰ふ、之れは經濟學の原則からは勞力に對する報酬なれば優劣はない筈であるが、實際はさう行かない。甲よりも乙が給金を餘計に出すと云ふ時、勞働者は乙の方に行く。そこに勞働者の方に弱點がある。資本家に勞働者を左右し得る强味があるのである。婦人の場合も其通りで、結婚の如き一種の競爭の狀態である。婚期が後れると困ると云ふので無暗に結婚を急いて、嫁ぐやうである。そこで自ら男子に一歩を讓つて、男子の要求通になり、婦人の地位と云ふものが低下して來たのである。此の弊を救ふには教育の力に俟つ外はない。即ち女子の教育を盛んにして、婦人自身が自重の念を增すやうにせねばならぬ。さうすれば婦人は親任せに、無我無中で結婚すると云ふ現代の狀態から脫却し、自ら是非を判斷し、いろ〳〵なる條件に屈從して奴隷的境遇に陷るの愚を演ぜぬやうになる。斯くて男女は本來平等なるものであるが、因襲の久しき遂に今日の如き有樣になつて居ると云ふことを悟り、その自覺はやがて其地位を向上せしむるに至るのである。（完）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

福澤諭吉氏の一夫一婦論を評す（四）

一條忠衛

それから、家内勤務のために雇傭契約によつて勞銀を目的に働くといふならば、其處に一應の意義を有するが、家内勤務のために主人と情交を行ふと云ふことになれば、これは取りも直さず女中が主人の要求に應じて淫を遂ぐると同一であり、且つ主人が女中に情交を逼るの醜と相表裏して一種の淫賣行爲になる。然るに情交なるものは一夫一婦の間に於て人格的の目的より行ふべきものであつて、主人と女中とが家内勤務の一と看做して弄すべきものでは無い。それで遺兒の養育又は家政の整理のために再婚するは一種の墮落であつて、娶る者は娶らるゝ者の人格を自己の便宜に供し、而かも之れを色情のために蹂躙し、娶らるゝ者は自己の人格を自ら破壞し、而かも男子の色情のために一個の玩弄器となり、且つ先妻の屍を鞭つ者になる。

斯様に結婚の目的は生子説にも存せず肉慾満足説にも存せず家庭説にも存せぬならば、果して如何なる説の上に嚴存するか。それは男女道德の上より見て、實に戀愛の上に有するのである、即ち人格的戀愛の上に存するのである。換言すれば、一夫一婦が戀愛即ち和合に生きて行く人格的生活が、結婚の究竟目的である。人格的戀愛に生きることが出來れば子を生むことにも生き肉慾の満足にも生き、經濟的生活にも生き、家庭の團欒にも生き得るのである。即ち戀愛は此等の總ての生活を統一した根柢生活であつて、結婚生活に於ける唯一最高の典型である。別言すれば夫婦の愛は男女に家庭を與へ、衣食を與へ、肉慾の満足を與へ、子孫を與へて、天地と共にその成育を同じうし、宇宙造化の根本たるものである。夫婦に愛が無ければ其處には家庭なるものも無く、衣食なるものも無く、肉慾の満足なるものも無く、優良なる子孫も無い譯である。物には本末あり、事には終始ありと云はれる。夫婦の愛は之れを譬へれば太陽の如くである、圓満明淨にして且つ烈々赫々たるものである。山水草木、花鳥風月は日輪の光を受けて始めて其の存在の意義を明にするが如く、夫婦の愛があつて始めて結婚に伴ふ一切の生活も其の意義を明にするのである。其本亂れて末治まる者あらずとは、斯様な場合を指すのである。人格的戀愛は實に男女生活の源泉であり、夫婦關係の眞諦であり、上天子より下庶人に至るまで身を修むるの要訣である。かの『君子の道は端を夫婦に造す、其の至れるに及びて天地に察なり』とは、此の邊を道破した言である。だから一夫一婦の愛によつて人格を實現することが、結婚の究竟目的であることは、男女道德上の無上大法であり、後世如何なる倫理學者が現はれても、此の言に順ふことは必然である。然

らば斯かる戀愛的生活者に於て若し一方か死亡した場合は再婚して善いか惡いかと云ふに大に惡い、斷じて爲すべからざるものである。然らば如何なる理由の下に爲すべからざるものであるか。左に之れを攻究して見る。

人格的戀愛に於ける結婚の根本義

前述の如く人格的戀愛が男女の性的生活に於ける至上價値であるから、結婚の目的は人格的戀愛に存することになる。そこで人格的戀愛の存する所には結婚も亦た常に論理上伴ふ。これは戀愛が結婚の本體であるから、影の形に從ふが如く、一身にして同體たる原理に由來する。そこで戀愛卽結婚と云ふ一種の公式的名稱をも生ずるので、これを稱して戀愛結婚とも云ふことが出來る。さて此の戀愛結婚なるものを更に追究して、其の內容を探索して見たならば如何なるものを根本義として居るか。換言すれば戀愛結婚を組織して居る價値意識には、如何なる內面的要求が胎藏されて居るか、之れを倫理學的に研究すれば、それは夫婦契約に關する良心の人格的要求に存するのである。一男一女が各自の性慾を理想化し、互に全的に理解し、互に自由意志を以て靈肉一致に結合した自我の顯現の下に、夫婦契約としての概念が道德的意識を支配し、それが戀愛結婚の中心要素になつて居る。然らば此の夫婦契約なるものは如何なる性質のものであるかと云ふに、全く吾人の道德意識に於ける人格的生命の要求であつて、一男一女の結合に關する至誠の流露である。一男一女が性慾を理想化して自由意志によつて靈肉一致に結合したことは、卽ち夫婦契約の客觀的形式であつて、その自我に於ける至誠の內面的牽引がその主觀的內容である。夫婦契約はこの兩面より成立して、戀愛の根本精髓となり、貞操の由來となり、其處に完全性と永續性とを現はし、一夫一婦の結婚關係をして倫理學的に永久的軌範たらしめる。

以上は夫婦契約の意義を述べて、戀愛結婚の根本義を論定したのであるが、然らば斯かる戀愛結婚者に於て配偶者の死亡した場合には、その夫婦契約の效力に如何なる影響を及ぼすことになるか此の場合に福澤氏の主張から言へば一夫一婦の關係は夫婦の生存中だけて、その愛又は貞操は同棲中だけの義務に過ぎぬから、配偶者が死亡すれば夫婦契約は何時でも廢棄されて其の効力を失ふことになる。然るに實際の道徳的事實に就いて觀察するに、却つて之れに反して居る。例へば茲に今將に死なんとする妻があるとする。夫が之れに向つて汝は何うせ死ぬのであるから、死後には更めて妻を迎へるによつて、汝は今より我が妻では無い、二人は夫婦でないぞと云つたならば、如何なる女子と雖も道徳的觀念を有する程の者であるならば、縱令自己の死を豫期する場合であつても憤然として怒り猛然として狂び、夫の無情を呪詛し難詰するに相違が無い。これは何故であるかと云ふに、夫婦契約によつて成立した戀愛結婚の貞操を裏斬られたからである從來の人格的信任に對して豫想外の打撃と苦痛とを蒙り、無念の涙に胸をかき破らるゝからである、尤も死の宣告を受けて居ると雖も、現在我が妻に向つて夫婦でないと、何の面で言へたか、其の理由を問ひ、其の放言に對して正義の嚴肅なる審判を求めんとするの聲である。而して此の聲は間も無く妻の死と共に消滅するであらう。けれども正義は常に社會に生きて居る。妻はその死と共に彼の女の聲を失つても正義の聲は囂々として社會に高いのである。かるが故に妻はその死によつて自己の聲を失つても、猶ほ正義の聲として社會に生きて居る。個人と社會とは斯樣な關係を有して居るので、道德は個人によつて滅ぶもので無く、社會の中に永遠に生きて發展する。肉體としての我は死んでも、眞理としての我、生命としての我は社會の存續する限り存續する。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

此の倫理學的原理によつて更に夫婦契約を考へて見るに、これは前にも述べたやうに一夫一婦の性的生活に於ける無上大法であり、戀愛及び貞操を可能ならしむる人格的至誠であつたから、正義としては最も大なる者であり、眞理としての我、生命としての我に該當して居る。そこで配偶者の死によつては夫婦契約なるものは廢棄されるものでは無く、其の效力には尠しも變るところが無く損ずるところが無い。隨つて飽くまでも何某の妻であり、何某の夫たる者として、正義はこれを監督するのである。だから法律も此の正義の觀念に基いて規定されて居るので、配偶者が死亡しても、仍ほ亡者の夫又は妻として國家の臺帳に登錄して置くの自由を與へて居る。殊に未亡人の場合には國家は其の生涯中その夫と同一の待遇を與へる義務すら負うて居る。此等によつて觀ても夫婦契約は一男一女の個人的意志の結合であるばかりで無く、個人と社會との意志の結合であるから戀愛及び貞操の當然的要求の爲めに永遠不滅の效力を有した居る。この道理は親子の關係より演釋して見れば、一層明かにされる。親は死んでも生きてる子は死んだ親の子であり、死んだ親は生きてる子の親である。卽ち親子の關係は歴史的であつて、人爲を以て此の天然を改廢することは出來ない。之れを改廢して亡親を棄てる者があるならば、不孝の罪これより大なるは無いのである。隨つて夫は死んでも生きてる妻は死んだ夫の妻である。之れを單に未亡人と稱し、死んだ夫は生きてる妻の夫であり、之れを單に亡夫と稱するに過ぎない、是れは妻が死んだ場合に於ても同樣である。卽ち夫婦の關係は歴史的であつて人爲を以て此の天然を改廢することは出來ない。之れを改廢して亡者を棄てる者があるならば、それは不仁の徒のみである。この意味に於て一夫一婦は之れを福澤氏のやうに夫婦の同時的な生存中に限るものと考ふべきでは無く、生涯を通じて行はるべきもので、時空を超越した良心の使命である。若し之れを氏の如く同時的に解するならば、配偶者の死する度每に結婚を更新するの必要を生じて、三婚四婚五婚六婚に及び、水の低きに就くが如く、頽雪の村落を崩壞するが如く停止するを知らざるを覺悟しなければならぬ。然らば事實上に於て吾人の靈肉が多くの異性の上を移動することになり、從つて自己の精神界は多くの異性の影像によつて滿たされ、右に左に之れを玩弄した實質上に於ては一夫多妻又は一妻多夫の蠻風に陷るのである。一方に新婦を娶つた前後兩妻を兼ねて愛し得ると爲すなどは、是れ自然主義者の謂はゆる平等愛であつて、遊野郎が二人の娼婦を買つて愛に優劣なきことを喋々するに異ならない、之れを周易によつてトするに革と云ふ卦に當る。「革。水火相息。二女同居。其志不相得。曰革」とある。一室に二女が同居すれば互に衝突して、水火の攻め戰ふが如く、終に身を過り、家を失ひ、國を亡ぼし天下の革命となると云ふ意味である。再婚は實にこの二女の同居に當るので、敢てこれを行ふ男子は自ち其の禍を招く者である。

次に考へて見たいことは古來より東洋の社會に描かれた偕老同穴又は一蓮托生と云ふ思想である。前者を儒教の所產とし、後者を佛教の所產として見る時は、一夫一婦を基督教の所產として之れに配合せしめたならば頗る面白い結果に成るだらう。尤も一夫一婦といふ漢語は文中子に出て居るので東洋の思想であるが、こゝて云ふ基督教の一夫一婦はMonogamyの意味てあ

る。然る時は基督教の一夫一婦でも、佛教の一蓮托生でも、儒教の偕老同穴でも、決して徹底した男女道徳では無く、その背後には幾多の不純なる思想を介在するのであるが、共に夫婦の契約を重んじ、戀愛及び貞操の道念を美化して之れを詩的に又は宗教的に理化した點に關しては、偉大にして崇高なる價値を認めなければならぬ。殊に偕老同穴又は一蓮托生の思想が我が江戸時代に於て、男女文學の中心觀念となり、世話淨瑠璃に於て、人情小説に於ても殆ど描かれぬものは無く、殊に戀愛及び貞操のために心中する場合などには千遍一律の姿でこの思想が繰り返されて居る程である。又た謠曲に於ては高砂の觀念となつて、一夫一婦の神話が如何なる婚禮の式場にも持ち出されないと云ふことは無かつた。今日でも小笠原式の婚禮から、この高砂の思想を取り去ることは出來ない。橋の下で行はれる乞食の婚禮にも此の高砂の老夫婦が列席して、松竹梅を贈り、空には鶴が飛び地には龜が這ひ千歳萬歳を祝ひ壽いで一両同仁であるとは誠に羅有い思想では無いか。此等の男女文學の一般化した所以は全く男女の性的生活に於て一夫一婦の欺かざる至誠の生活が萬人の耳心を喜ばせ社會の正義に適ふが爲めである。名も無い市井の匹夫匹婦が淨瑠璃に語られるに過ぎぬ者が、之れを聽く王侯貴族をして落涙數行せしむるものは、全く一夫一婦の人格的戀愛に於て人を感泣せしむるものが有るからである。此の高價なるものは獨り人格的戀愛を實現した一夫一婦者に於てのみ求め得べき天爵であつて、再婚者の到底豫想し能はざるものである。福澤氏の如く偕老同穴を天然の約束として奉じて居ながら、配偶者の死亡した場合にはこの約束を反古にし人間萬事を一時の戯と看做して再婚するを以て大自在の法として居るのは、矛盾の甚だしいものであり、偕老同穴の教をして有名無實に終らせたものである。

□　□　□　□

斯様に戀愛結婚は一生涯を通じて一夫一婦の道徳的契約の上に貞操を有するのであるから『貞女兩夫に見えず』と云ふ古來の教訓は眞理であり、又た新に『貞夫兩女に見えず』と云ふ教訓をも添へて、男女平等に、兩本位的に、男女道徳の根本義を明にしなければならない。さうして子供の有無を問はず、年齢の如何を止さず、苟も人格的戀愛に由つて結婚した者ならば、其の配偶者が死亡しても再婚するの行爲を以て罪惡と認め、一夫多妻又は一妻多夫の動物として擯斥するのである。勿論吾々は斯かる意味で一夫一婦論を生涯的に且つ平等的に男女道徳として認めるのは、我が國の社會に於ては近く大正年間に入つてからの事である。明治時代に於ては福澤氏の杜撰なる一時的な一夫一婦論でも間に合つて居たであらう。即ち明治時代に於ては男女道徳史上より見て、男子は生涯的に一夫多妻であつても、吾々はこれを時代の習慣として認めるので、唯だ女子に對して之れを否定するのみである。換言すれば明治時代に再婚した男子に對しては之れを時代の習慣として默許し、唯だ女子に對してのみ『貞女兩夫に見えず』の婦道に牴觸した行爲として擯斥するのである。何となれば斯かる片務的な男女道徳は無批判的のもので宜しく無いけれども、江戸時代の習慣道徳であつて明治時代は單に之れを繼承して居たに過ぎないから、時代道徳として之れを認めざるを得ないからである。福澤氏は此の片務的なる點を憎むの餘り『貞女兩夫に見えず』の規定を不可として女子に再婚を許さんことを主張するに到つたのであるけれども、それは極めて見當違ひの考で此の片務的な點を憎めばこそ『貞女兩夫に見えず』と云ふ正しい行爲と平等に『貞夫兩女に見えず』と云ふ道徳も必要になつて來るのである。此の片務的なる點は一に男子の不貞操行爲に存するのであるが、福澤氏は單に男女の平等のみを希望して男子の不貞操行爲に注意しなかつた爲めに、女子に再婚を許すの結果は夫婦諸共に不貞となり、交々男女道徳を相侵すの滑稽を演ずるに到つた。こゝが福澤氏の男女道徳論の無批判的な點であつて、大正の時代に於ける吾々の取扱ふ倫理上の男女道徳と異る點である。けれども道徳は法律と同じく時代を指導する智識階級の肯認となつて始めて一般的の準則と成る。優生學上の男女道徳も亦た然りである。併し乍ら幸にして大正の時代に入つては男女問題が知識階級の間に頻る研究され、男女道徳が大に發達したので、往日と趣を異にして居る。その結果として一夫一婦論は眞面目なる紳士淑女の間には徹底的のものに解釋され、福澤氏の同時論は破れて生涯的のものに爲つた。それで家庭の圓滿なる知識階級に於て、その妻を失ひその夫を失ふたる者は、一夫一婦の規範を生涯的に信奉して、時代の燈明臺となり道徳の策源地と爲さなければならぬ思潮になつて來た。然るに今日往々にして知識階級の間に、此の時代思潮を沒却して再婚する者のあるのは實に歎ずべきことで、時代錯誤の甚だしい行爲である。例を云へば、某大學教授夫婦間でも他人が見て羨むほど、鴛鴦と譬へられ、理想的家庭として、世間の模範であつたが、妻の沒後十年に至つて五十歳に到り天命を知るべき齢で突然再婚した是等の行爲は性的人格が墮落し男女道徳を蹂躙した醜惡なる行爲と見るべきである

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

社會問題としての離婚

立教大學長 哲學博士
廓濟會評議員 神學博士 元田作之進

一、離婚の數

結婚が人生の幸福である如く離婚は人生の慘事である、大正五年中離緣を悲しみて自殺せしもの男二十三人女五十三人計七十六人ありし事實を見ても其悲慘の程度を想像することが出來るのである、大正五年度の統計を見るに結婚四十三萬五千七百五十五に對して離婚六萬〇五百三十六である、卽ち結婚約七に對して離婚一の割合である、階老同穴を契りし夫婦も七つに一つは破鏡の憂目に逢ふ運命と知れては實に心細き次第である。

二、列國との比較

統計は少しく古いが列國の離婚數並に離婚率を擧ぐれば左の通りである。

日本
調査年次 一八九八年 人口 四三、七六三、八五五
離婚數 九三、九四九 離婚率 〇〇二一五

墺地利
調査年次 一九〇〇年 人口 二六、一五〇、七〇八
離婚 一七九 離婚率 〇一

洪牙利
調査年次 一九〇〇年 人口 一九、二五四、五五九
離婚數 二、一三〇 離婚率 〇〇一

白耳義
調査年次 一九〇〇年 人口 六、六九三、五四八
離婚數 七〇五 離婚率 〇〇一

佛蘭西
調査年次 一九〇一年 人口 三八、九六一、九四五
離婚數 八、八六四 離婚率 〇〇二三

獨逸
調査年次 一九〇〇年 人口 五六、三六七、一七八
離婚數 八、六六〇 離婚率 〇〇一五

英蘭及ウエールス
調査年次 一九〇一年 人口 三二、五二七、八四三
離婚數 五六八 離婚率 〇二

蘇格蘭
調査年次 一九〇一年 人口 四、四七二、一〇三
離婚數 一七五 離婚率 〇四

愛蘭
調査年次 一九〇一年 人口 四、四五八、七七五
離婚數 — 離婚率 —

伊太利
調査年次 一九〇一年 人口 三二、四七五、二五二
離婚數 八一九 離婚率 〇三

和蘭
調査年次 一八九九年 人口 五、一〇四、一三七
離婚數 五一二 離婚率 〇〇一〇

瑞西
調査年次 一九〇〇年 人口 三、三一五、四四三
離婚數 一、〇五三 離婚率 〇〇三二

合衆國
調査年次 一九〇〇年 人口 七五、九九四、五七五
離婚數 五五、五〇二 離婚率 七三

右は各國に於ける離婚法の如何にも依ることなれば直に之を以て離婚に關する道德の正確なる比較とはなし能はざるも我國が他國よりも遙かに離婚の多いこと

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

だけは明かである。

三、我國の離婚は減少せず

右の如く我國は世界に於ける一等離婚國となつて居るが、これが尚ほ少しも減少しつゝある模様が見へぬ、結婚千に對して離婚の數を調べて見ると左の通りである。

明治三九年	一八五	明治四四年	一三八
大正元年	一三九	大正二年	一三四
大正三年	一三二	大正四年	一三四
大正五年	一三八		

斯くの如き事實は我國民が結婚離婚に對する觀念の甚だ幼稚なるを意味し、且つ今日に於ても更に向上改善の實なきを示して居るのである。

四、離婚前夫妻としての年數

離婚するまで夫妻として何年間經過したかと云ふことも興味ある問題である、明治四十三年の統計にて少しく古い嫌ひはあるが、毎年甚だしき差異はないのであるから此處に掲ぐることにする、離婚者を千人と見積り、夫妻として同居せし年數の比例を見れば

年數	實數	比例
滿一年迄	一〇、五四一	一七七、四
一年以上滿二年	一〇、五三一	一七七、〇
二年以上滿三年	七、六〇四	一二八、〇
三年以上滿四年	五、〇四七	八四、九
四年以上滿五年	三、三七〇	五六、七
五年以上滿十年	一一、二三九	一八九、一
十年以上滿十五年	五、七三九	九六、五
十五年以上二十年	二、六九八	四五、四
二十年以上	二、五八五	四三、五
年數不詳	八八	一、五
總計	五九、四三三	一、〇〇〇、〇

是れに依つて觀れば結婚後一年も經たぬ中に何等かの理由にて離婚沙汰となるのが一等多く、其數一萬以上に達して居る、結婚の年數が長くなれば、なるほど、離婚の數も減つてくるのであるが、それでも二十年以上夫婦として居つて何等かの理由にて離婚するものが二千五百人以上に達して居る、銀婚式も擧ぐべき時に及んで此始末とは實に悲慘極まると云はねばならぬ。

五、離婚の理由

日本の民法では夫婦は其協議を以て離婚することも出來るし、或は夫婦の一方が特別の場合に限り離婚の訴を裁判所に提起することも出來る。日本は元來が男尊女卑の國であり、且つ家の系統と云ふことを重んずる所より離婚が多い、氣が合はぬとか、家風に叶はぬとか、自分には氣に入つても尊屬の氣に入らぬとか、妻を玩弄物か家具の種類の樣に考へて居るものも無きにしもあらずである、故に疊でも取り換へる樣に妻を取換へるものもある、民法では夫婦の協議に依つて離婚が成立するのであるが其實多くの場合は强制的協議である、露骨に云へば妻を追ひ出すのである。協議離婚でなくて追出離婚である。

裁判上の法律に於ても男尊女卑の遺風が殘つて居る、夫は妻が姦通を爲したるときに訴ふることが出來るが、妻は夫が姦淫罪に因りて刑に處せられたるときに、訴ふることが出來るのみである、妻が役者買ひをすれば裁判の問題となるが、夫が藝者買をしたとて裁判の問題にはならぬ樣である。風俗から云つても法律から云つても我國にては未だ女子の人格を男子同樣に認めて居ないのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

六、裁判上の離婚

羅馬教國にては離婚は頗る少い、英國にても可なりに困難である、他の新教國にても日本の樣には容易でない、西洋交明國にては米合衆國が最多數の離婚者を有する國と稱せられて居るが、それでも日本の二一五に對して三二しかないのである。而して、日本に於けるが如く協議離婚でなくて多くは裁判離婚である、其裁判は夫が妻に對するよりも、妻が夫に對して提起するのが多い、卽ち後者は前者の三分二であると云ふ、其理由と云ふのを見るに

遺棄	四割〇一五	姦淫	二割一分四五
虐待	一割六分三五	醉酒	四分四〇
扶養怠慢	二分五二	入獄	〇分八七
數種原因	一割一分二三	其他	三分〇三

日本にて、裁判離婚の理由となるものは入獄、姦通、虐待、遺棄の外に配偶者の直系尊屬より虐待又は重大なる侮辱を受けたるとき、又配偶者が自己の直系尊屬に對して虐待を爲し又は之れに重大なる侮辱を加へたるとき等の項目があるが、前に述べた通り實際は强制的協議に依つて解決して仕舞ふのが多いのである。

七、離婚者の再婚

或國にては離婚者の再婚を絕對的に禁じて居る、或國にては全く自由である。全體結婚離婚の問題は宗教の問題であるが、本論は離婚を一の社會的現象として硏究するのが目的であつて宗教的意義に就ては別種の問題として取扱ひたい、

メヨースミス博士は歐洲の某國の例を引き、百人の男子が始めて、結婚せんとするに當り其中九十五人は處女を選び、五人は寡婦か離婚された婦人を娶る、妻を失ひし百人の男子中七十五人は處女を娶り、二十五人は寡婦か離婚された、婦人を娶る。百人の未婚婦人は八十八人まで獨身男子（卽ち未だ曾て結婚せしことなきもの）に嫁し、十二人は妻を失ひしもの又は離婚せしものに嫁す、結婚する百人の寡婦中六十人は獨身男子（前と同意義）に、四十人は妻を失ひしもの又は離婚せしものに嫁すと云ふ。

日本にては斯くの如き統計を取りかぬるが五十歲迄位の男にして妻を失ふか或は妻を離婚する場合には殆んど全てが後妻を迎へ、三十歲まで位の女にして離婚せられたものは是れ亦殆んど凡てが再婚する樣である、而して如何なる後妻を迎へ或は如何なる人に再婚するかと云ふに大概メヨー、スミス博士の調査したるものと大差なかるべしと推測せらる。

八、內緣の妻

明治三十年頃までは離婚の數が非常に多く、結婚三に對する一位の割合であつたのが其後に至り急に減じて結婚七に對する一位の割合となつた、此現象は表面喜ぶべき事の樣に思はるゝが其實は却て喜ぶべからざる現象である、明治三十一年に新たに戶籍法が實施せられて婚姻及び離婚の手續が著しく面倒となつた、其故に自然其手續をなさずに濟ますものも出來て來た、若しくは結婚後間もなく離婚すべきを豫想して屆出ざるものもあると云ふことで茲に內緣の妻なるものが發生した、內緣の妻とは法律上の手續を經ざる妻であつて實際上に於ては何等正妻と異なる所はないのである、此種の妻は結婚屆をなさゞると同時に離婚屆もなさない、而して數字上の離婚は法律上の夫

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

婦よりも此種の夫婦に多きを以て統計に現はれた離婚數が減少したと云ふのはこれが爲めてある。日本に私生兒が多いことを云ふのも内緣の妻に出來た子が多いことを意味して居るのである、今日我國に毎年六萬の離婚があると驚いて居るが、實は其三倍もある譯で、矢張結婚三に對する一位の比較に上つて居ないことも限らぬ。

九、蓄妾

妾と云ふのは法律上では何と定義を下さうとも一時的の妻である、正妻に對しては權妻である、内緣の妻に對しては臨時の妻とでも云ふべきであらう。妾に對しては離婚と云ふのでなくて解傭と云ふ名稱は何であらうと矢張一種の離婚である、或人は絕へず結婚して又絕へず、離婚して居る、これでは我國風の品位が向上しよう筈がない、風敎に志すものは蓄妾制度を破棄することに努力せねばならぬ、内緣の妻なるものを認めぬことにせねばならぬ、而して離婚と云ふ人生の慘事をなくする樣にしたいものである。

十、何故に離婚が多い

元來結婚に二種類ある、便宜主義の結婚と愛情主義の結婚である、便宜主義は我國が從來採用せし結婚法である、媒介者があつて双方の家柄、身分、財產、趣味、技倆、性質等を調査し、これならば双方の便宜であらう兩家の幸福であらうと云ふが如き考を以て結婚を成立せしむるのである、愛情主義は今日西洋に行はるゝものにて結婚は家と家との結婚でなくて個人と個人との愛の結合である、自由戀愛より成立するものである、單に便宜主義より成り立つた結婚は其便宜の繼續する間は夫婦の緣も繼續するのであるが、一旦不便であることが生じたる場合には忽ち離婚の相談が持ち上るのである、戀愛一遍の結婚も矢張り同樣である、愛の繼續期間が夫婦の繼續期間であつて其愛が冷却すれば直に別れ沙汰となる、我國の下層社會には此流の結婚離婚が多い樣である、結婚を以て人生に於ける神聖なる出來事とし、神の配せ給ふものは人之を離すべからずと云ふ強き宗敎的信念が其後に存在するに非らずんば便宜結婚でも戀愛結婚でも永續することは出來ぬものと諦らめねばならぬ。

嗚呼森村翁

本會顧問森村市左衞門男は、九月十一日八十一歲の高齡を以て溘焉昇天せらる。翁は實に物心兩界の偉人として一世の尊崇したる處、殊に晩年本會の事業を賛し援助を與へられたる事甚だ厚かりしに、今や既に空矣。哀悼痛惜の情何ぞ堪えん。謹みて吊を意表す。

大正八年九月

廓清會本部

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY
EAST ASIAN LIBRARY

性の教育と身體の暴露

理學博士　山内繁雄

■傳説習慣を離れて人生問題はなく＝身體を離れて人生問題は考へられぬ■

人間の身體は、我が種族が地球上に表れてから今日迄、幾十萬年の歳月を經過して居るが、其の構造に於てはあまり進化はないやうに思はれる。卽ち吾々の腦髓が今日の人間の平均量一五〇〇センチメートルの大きさになつてから幾十萬年、身體の構造には大差なく、從つて其の機能にも大差なく、恐らくは性欲に關する事も大差なからうと思はれる。文字に記した記錄の始まる前、既に幾萬年、人間が處を異にして發育を續け、異つた種族が互に交際して、種々な傳説習慣を生み、一時代より次の時代に至る間に、この傳説と習慣とは幾多の變化をなして、極めて複雜な形となつて今日に至つた。かく何れの社會を見ても、傳説と習慣制度約束等は、幾萬年の長い時日を經過して出來上つたものであるから、なか〳〵簡單な理屈ではこれを變更する事は出來ない。要するに身體を離れては人生問題なく、傳説習慣を離れては人生問題は考へられぬのである。然るに從來人生問題を解決せんと試むる人の多くは、何れか一方に偏して取扱はうとするために或は皮相の見解に陷り、或は内を顧るに厚くして外を忘るゝの觀があつた。併しこれは兩々相伴つて行かねば本當の研究にはならない。生物としての人の性欲は如何に文明が進んでも、幾千萬年の過去の野蠻時代と變りなく存するのであるが、これを赤裸々に表はさずして、幾多の美しき傳説習慣の衣を着せて祕密の内に置くやうにした事は、誠に賢なる方法であり、又それが一の禮儀とも云はるゝのである。かく美しく覆ひ隱されてはゐるが、吾々人生問題を解決せんとするものは、常にその中に、人間には依然として異性に對する欲のあるといふ事を片時も忘れてはならないのである。

■婦人問題は究竟性問題である＝故に性の教育は最も重要となる■

婦人問題は、人によりては婦人獨立の問題であると誤り考へられて居るやうであるが、若しこれが婦人獨立の問題であるならば、それは男女の區別なき單純な人生問題である。苟も婦人問題といふ以上は、男女關係が基礎とならなければならないのが當然で、男なき處には決して婦人問題といふものは起らないのである。是まで婦人問題といふ尨大な標題の中に含蓄されてゐた諸種の題目をあげて見ると、婦人の體格といひ、婦人の腦力といひ、婦人の性癖、婦人の感情、婦人の病氣乃至は婦人の職業、婦人の參政運動、婦人の貞操、婦人の賣淫等といひ、凡て性の異れる男子が一方に存するによつ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

て、これに對して起つた問題のみである。故に婦人問題は、一として男女の區別を置き、男女の關係を前提としないものはないのである。かう論じ來れば如何なる方面に於ける婦人問題も、まづ其の中心として考ふべきは性の問題である。男女性を如何に見るかの問題である。而してこの見解が立つ以上は、次代の後繼者たる青年少年男女に性教育を如何に施すべきかといふ事は、最も大切なる人生問題になつてくるのである。然るに今日迄性の教育に就て考へた人は澤山あるにも係らず、この問題が餘りに大なるために、まだなか〳〵その解決がついて居ないのである。

■衣服は保護か裝飾か羞恥の爲か
＝發情は身體の一部を見てか全體を見てか■

處で性教育に就て考ふべき問題は多々あるが、其の内に私は今茲に身體の暴露といふ事に就て少し述べて見たいと思ふ。今日尚生き殘つて居る未開の蠻族中、熱帶に棲むものは何れも裸體の風俗を慣守して居る。若し身體を蔽ふとすればたゞ其の腰部を僅に蔽ふに過ぎない。これは未開の蠻族共通の方法で、恐らくは今日文明人と雖も、その祖先が野蠻の狀態にあつた時には、裸體を以てその常態としてゐたに違ひない。而してこの腰部を蔽ふといふ事が今日の衣服の始まりになつたのであらうと思ふ。抑今日文明國人が衣服を着け、身體の大部分を蔽ひ隱して居るといふ事は、如何なる原因に始まつたか。單に保護のためか裝飾のためか。或は淫蕩の心を起さしめぬために先づ生殖機關部を覆ひ、然る後少しでもかゝる淫猥の念を起さしむる部分を蔽ひ隱すといふのであつたか。それは何れか分からない。今日異性が他の異性を見て性欲を萠すのは、全體の裸體を見た時に多いか、或は何れか少部分だけを現はすのを見た時に多いか、若し後のやうであるとすれば、性欲を萠す事を防ぐために身體を暴露する事を避けるといふ理由は立たぬやうになる。

■希臘は裸體を神聖視し羅馬は之に反した
＝基督教は罪惡とし近世は又神聖視する傾向■

暫く古に立ち戻つて西洋の習慣を考へて見るに、ギリシヤはスパルタを始めとして、女は裸體で體操、舞踏等をし、男子の前でも或は男子と一所でも全く裸體であつた。道德品性等に就て意見の多いプラトーの如きも、諸多の哲學問題に關する意見は時々變つてゐたが、男女共に教育し共に交際させ、敢て婦人の裸體を忌まぬ、忌まぬのみならず、青年男女には忽然として起る性欲の鋭き欲望の刄を鈍らするには却つて男女區別を置かずして、裸體を自由に見せるがよいといふ、その考に於ては少しも變らなかつた。然るにローマに於ては、プラトーのいふが如く裸體の効果は認められずして、裸體を神聖視したプラトーの主張に反對說が起り、裸體は全く淫逸放恣の念を呼び起すものとしてこれを賤しんだ。而して其の當時は裸體を人に露はすのは舞臺の役者に限られて居つて、ローマの人民は好んで役者の裸體を見て居つた。時にキリスト教が起り裸體を肉體と呼び、肉體は罪深き惡である、故に惡を示す事は禁ずべきであるといふ理由から裸體を表はす事を止めた。而してキリスト教が歐羅巴全洲に擴がると共に、裸體を忌むの考を人心に植ゑつけたが、實際は會堂、寺院等

にのみ行はれて、以外の一般庶民間には尚原始的の裸體を表はす事を忌み嫌はなかつた。中世紀の宗教芝居に於て、舞臺に現はるゝアダム、イブは裸體であつた。又十六世紀の佛蘭西に於ては、貴婦人が自由に其の浴室に異性の人を入るゝを拒まなかつた。英吉利でも十七世紀頃までは公衆に裸體を禁じなかつた。たゞキリスト教を説く宣教師等のみ肉體を暴露する事を罪惡とし、從つて蠻族に此の教義を宣傳する間に此の教に歸依する萬民には先づ着物を着せた。所が十九世紀には稍裸體を忌むの考が擴がつて行つて、遂には白い足を出すのも猥褻無禮であると考へらるゝやうになつた。然るに又此の頃獨逸に於てはルーソー、英吉利に於てはブレーク等が以前の裸體を神聖視する考を復活し、尚加へて衞生上から身體を新鮮なる空氣、日光に觸れしむる事は身體の發育上必要であるといふ見解から、却つて裸體を忌む事を誤つたものと否難する主張を生じた。從つて教育者の内には、身體を隱さず有りの儘の狀態を見せる事になれしむる事は要なき内氣を去り、美の感覺を錬磨し、精神的に健全なる考を持つが故に賤しむべきでないといふ考を持つに至つた。のみならず衞生上から身體を新鮮なる空氣、日光、水等に自由に觸れしむる事の多きが極めて效果ありといふ事を知つた後、昔ならば無禮不謹愼と云はれるやうな衣服でも、敢て差支なく却つて良い意味に認めらるゝやうになつた。

■淫猥の心は寧ろ肉體を見るより起る‖
‖願くば美はしき花として眺めしめよ■

性欲に就ての研究家ホレルの如きは、裸體を見れば性欲を誘ひ起すといふ事は、裸體を見せぬ習慣に養はれた大人が、偶々自分の考から青年男女の心狀を想像するより起る事で、寧ろ始めから身體の暴露するを見馴れた青年男女に於ては、大人が起す樣な性欲は起るのでないといふ事を澤山の實例を擧げて、度々其の著書論文を發表した。ホレルの意見によれば、恰も美しき花を見るやうな心持で裸體に對するがよいといふのである。美しき花を見るの習慣になれた人は決してこれを摘み取る事はしない。偶々餘り見ぬ人が、公園庭園等に於て美しき花を目に入れると、之れを摘みとらんとする感情が起る。之と同じ樣に、若い時から裸體に對する習慣をつけておけば、却つて賤しい欲望は起らずに純潔な堅い習慣がつくといふ意見である。獨逸の裁判官ウエルタウエルは、青年男女の淫猥な行爲の犯罪が多いのに對して、長い間の經驗と熟慮から、全く青年男女は異性の裸體を見るの習慣が欠けて居るために、好奇心から遂に淫猥なる行爲を行ひ罪に問はるるやうな擧動をなすに至るといふやうなのを見て、願はくば、若い時から仕事をするにも、遊ぶにも、體操をするにも或は水浴をするにも、餘り際立つた身體の隱蔽を止めた方がよからうといふ事を、頻りに主張して居る。スタンレー●ホールの考は發育の完全な肉體は、自己に一種の身體的誇りの本能心を與へるものである。これは恐らく誰人も拒み得ない事であると思ふ。裸體に對する道德觀は、過去五十年の間、かなり喧しく論ぜられて來たが、不幸にして、裸體に對しては、中庸を得た考にならない。大にこれに引きつけらるゝか、或は是れを忌み嫌ふか兩極端に走る傾向がある。裸體を見て、

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ひどく性欲を起して放恣の行爲に陷るのと、裸體を見て忌むべきものとして、之れを避け嫌ふやうにするのとはこれ共に不自然な兩極端である。願はくば、美しき花を見てその美を稱し、これを摘み取らずにおくやうな習慣を、裸體の上にも持たしめたい。實にエレン●ケイの、所謂、性欲病的傾向に陷らしめぬやうにならしむる事が望ましい事である。

■東洋の習慣は西洋の習慣と反する＝
＝繪畫に於ける當局の取締雖は當然■

西洋では、以上の如く身體の暴露に對する考の變遷があつて、今日の習慣をなして來たが、東洋の吾々は、又自ら多年の間、東洋に於て養ひ來つた傳說と習慣があるために、又一概にかくあるべしと斷定してこれを實行する事の出來ぬのも當然である。習慣の力は極めて强い。時には理屈以上でそこに幾多の矛盾があつても、少しも怪しまずに是認されて居る事もある。例へば西洋で裸體の繪、彫刻等はギリシャ時代の最初の考と少しも變らずに、眞に純美なる表象として、總ての人に愛され認められて居る。人に於ては婦人の如き、盛裝する場合に、首胸を低く露はして、其の肉體美を誇り、而して是れを認めて居るが、足は平常靴で覆はるゝ部分さへも、一切表はす事を恥として止めて居る。思春期を越した女は、それ以外の脚部を暴露する事は勿論である。婦人のみならず、男子でも人足、道掃きの如き、如何に勞働する場合でも、決して脚部を露はさない。然るに日本では、盛裝する場合に婦人は首胸の部分は露はさないが、足はこれを露はす事を敢て忌まない。時には脛の部分も平氣で露はして居る。而して裸體畫、彫刻等は成績の好き作品であつても、美術品展覽のためにのみする場所に於てすら、時々問題となる。況んや發育よき純美なる裸體の畫、彫刻等を公園學校公會堂等に出すといふ事などは、全く行はれて居ない。かく外國の習慣でも、日本の習慣でも其間には幾多の矛盾があるやうであるが、一時代より次の時代に相當の理由あつて變遷し來つた傳說習慣は、牢として拔き難いのである。日本の內務當局者が、美術品の裸體畫裸體像の取締りをなすに當つて、偶々人間を隱し難き赤裸々の身體の構造の上から、又は西洋の習慣の上から見た理屈によつて、其の所置を彼是批評さるゝ矢表に立つて、日本在來の習慣のもとに據所なくこれを取締り、日本在來の習慣を考へざる條理立つた批難の理屈に對しては心苦しい窮屈な立場に立つて取締らなければならぬ責任の地位にある人々を誠に氣の毒に感じ同情に堪へぬ。

性の教育身體の暴露等の事が基本となつて、男女の交際といひ、學校に於ける男女の共同教育といひ、靑年男女交際の方法といひ、婦人の服裝の改良といひ、其の他の諸種の問題即ちこれを總括しての婦人の問題がある。是等の問題は、何れも過去に長い歷史と傳說とで編まれ、異れる民族との交際によつて幾多の影響をうけ、變遷を經て、今日の習慣を確立して來たのであるから、婦人問題に關する何れ一つでも、其の解決はなか〳〵容易の事ではない。今日の習慣からでは、先づ一般の解決が出來ても、亦更に年月を經た後の時代に於ては、その解決を變更せねばならぬ事の起つてくるのは當然である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

公娼設置と和歌山市民

和歌山新報社長　久下豊忠

□五ケ條の御誓文と公娼制度

公娼問題は既に解決を告げてある問題で今更事々しく論ずる必要がないのである。何う云ふ風に解決をしてあるか、夫は無論非即ち最惡制度て健全なる社會には一日も存在を許すべきものでないといふ事に決してあるのである。此決定に對しては政治家も宗教家も教育者も醫者も一般國民も異論は無いのである。唯因襲の久しき習慣の鞏固なるものあり一朝にして之を打破するは社會政策上穩當を缺くの恐れがあると云ふ極めて臆病なる、極めて不徹底なる考へに捉はれて知らず識らずに月日を送つて居るだけて、早晩全廢せなければならぬ運命のものといふだけは誰しも感じて居るのである。夫につけても吾々の常に遺憾に思つて居るのは、明治維新社會大改造の際全國一齊に廢止を斷行せなかつた事である、維新の御聖勅畏くも五ケ條の御誓文中に、舊來の陋習を破り天地の公道に從へといふ御主意の箇條がある、若い女の貞操を蹂躙せしめ人の子を賣買するといふ野蠻時代の遺物、即ち舊來の陋習はイの一番にぶち破つて大御心に添ひ奉らねばならぬ筈であつたに、當時の政治家中之に心付なんだのは返す〳〵も遺憾である、唯獨り我和歌山藩我縣の先輩政治家のみ茲に着眼し英斷を以て公娼を全廢し御誓文の御主意を奉戴したのである、天下に卒先して廢止を斷行したのである。

廢止後の我縣の成績はどうであつたか、廢娼論者の往々口にしたがる否唯一の武器として振り翳す衞生問題即ち花柳病が蔓延するといふ事と、風紀が紊亂すると云ふ事實が、我縣て何う證明されたか。若くは彼等の言ふが如きものであつたならば今頃は我縣は大變な事になつて居る筈である、病毒は縣下を風靡し風教は頽廢し惡德墮落の極に陷つて居なければならぬ筈だ、然るに事實は反對て、全然彼等の主張に裏切つて居るてはないか。

□廢娼地と存娼地の風紀比較

廢娼以來四十年間の成績は何うであつたか衞生的現象としては花柳病は蔓延處か年々減少して居る、之を證據に立つる唯一の材料即ち壯丁檢査の成績に徵して明白である、全國に於て最も優良なる成績を示して居るてはないか他の社會的現象も又好成績である即ち結婚に對する離婚率、公生兒に對する私生兒率、犯罪率、貯金人員及金額率等、悉く統計の示す所に依つて證明されて居る、然るに明治三十九年に至つて時の當局者は輕卒にも一味醜團が强要を容れて縣下の一隅に

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

公娼設置を許可し清淨なる和歌山縣の天地を汚し縣政史上に一大汚點を殘したが、幸にも縣下の大部分は其慘禍より免れた爲め該公娼地の衞生及社會的成績は年々惡くなるに拘はらず、縣全體としては依然として好成績を示し、花柳病の如き恐るべき亡國病は最近數ヶ年の統計は例に依つて全國第一等の優秀を示して居る、啻に本縣のみではない明治二十六年に廢娼を斷行したる群馬縣の如きも、年々花柳病の減退を見一切の社會的現象又良好に赴きつゝある、之に反して明治十八年公娼を設置したる鹿兒島縣明治二十三年に公許したる岐阜縣の如きは反對に惡くなつて居る、公娼は啻に病毒の傳播者たるのみならず私娼を產みて益々惡風を煽り風敎を破壞し、青年子弟を墮落せしむるの如何に甚しきかを立證して居るのである、公娼地は何が爲に斯くも惡くなるのであるかといへば其公然たるが故である、其遊蕩機關を具備してあるからである、最も入門し易き淫逸の敎習所なるが故である、人を誘惑し墮落せしむる技術が最も進步してある場所であるからだ、一體人は境遇に感化され見聞に誘惑され易い性質を供へて居る、此の故に古來聖賢が非常に心配をして、戒めて居る。基督はサタンに近づく勿れと誨へ、孔子は君子は耳に淫聲を聽かず眼に邪色を見ず、男女は席を同うせず庖厨さへ之を遠くと說き、釋尊は魔界に接せば介癩の身をだに得ず、況や淸淨菩提の果を冀ふべけんやと戒め、東西聖賢の揆を一にして敎を垂れられたるは人生の弱點を救はんが爲めである啻に宗敎に於て之を戒むるのみではない、法律は猥褻を以て一の犯罪となし醜褻なる圖書の販賣禁止は勿論、美術的裸體書さへ公衆の前に陳列するを禁じて居る、國家及社會が國民の前より邪色淫聲を遠くるに、如何に苦心し努力して居るかを知る事が出來る、然るに一方には法律を以て公許せる淫府魔城が全國到る所に存在し、旗皷堂々として淫風を煽揚し盛に良風美俗を破壞して居る、天下是程矛盾の甚しきものはない、是程撞着の酷いものはない、是非是の矛盾を矯正し撞着を正さねばならぬ。

□不良少壯老年と其背景

幸にして我和歌山市及附近郡村には五十年來の美風として醜惡なる淫府魔城を縣民の前に築かざりしは稀に見る處の好制美觀である、和歌浦の風光と共に天下誇るべき良風美俗である、無論其內部を摘發すれば、密賣私淫が跋扈して、甚だ顰蹙すべきものがある、是とても他府縣と比較すれば統計上甚だ少ない、併し少ないからといつて誇るに足ぬ決して慶事では無い今や世界の大戰は終結し我國は五大强國の一員となつて、講和會議に列し大に位置を高めたのではあるが、其力、其實力に至つては遠く先進列强に及ばない、是より大に奮鬪努力して平和戰の勇者勝者とならればならぬのである、世界有色人種代表者少とも東洋の主人公とし列强を向ふに廻はして戰はればならぬ、平和戰に於ても實戰に於ても一步も引けを取らぬといふ覺悟が無くてはならぬ、啻に物質上に於てのみならず剛健執實なる體力と精神に於ても、彼に讓らぬ程度に進まればならぬ、斯くの加く我國民の責任は益重く益大なるに拘らず近來我國狀を見るに痛嘆に堪へぬものが多い、都鄙を舉げて成金熱に浮かれ、淫蕩遊惰の惡風は全國に彌蔓し、浮華輕佻日に甚しくならんとするの傾向がある、昔の希臘、羅馬の盛時と能く似て居る、誠に寒心に堪へない、殊に兩三年前來不良青年不良少年と名づくる醜團が都會の地に現はれて醜惡度し難い行爲を現はし、朝野め

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

に狼狽をして居る、是等の青年の墮落原因は或は活動寫眞にありといひ、或は小說、或は三面記事、或は精神教育の不充分等の罪をいろ〳〵の方面に歸して取締りと監督に腐心し是れ、日も足らずといふ有樣であるが、是は大なる見當違ひてはなからうか、青年の頭は無垢で單純で物に感じ易く、事に迷ひ易い教育は耳よりも目と云ふ、ヨシヤ教師が口を酸くして倫理の講釋をしても、生徒の目に映ずる家庭及び實社會の狀況が無恥不倫悖德のものであれば何等の効が無いのである、勤儉誠實よりは目前に展開せる遊惰淫蕩を學ぶのは當り前である、今日の不良青年の頻出は社會の暗黑面の表象であつて、實に實物感化の結果であるなれば、不良青年の監督取締と同時に大正の不良壯年不良老年の監督取締の必要がある。不品行、不道德を働らいて墮落の手本を青年少年に示して居る、不良壯年不良老年を先づ訓化し反省せしめねばならぬ。

□公娼設置は和歌山の輿論歟

又近頃貞操問題といふことが喧しくなつて來た、教育ある婦人や新らしき女子が唱道して居る所を聞くに、男子は貞操を守らなければ女子にも是を守る必要がないといふのであるが一應の理窟がある、斯う云ふ問題の起つて來るのも男子が餘りに、放縱に餘りに不品行過ぎるからだ、斯かる問題の發生から見ても現下我國民の風致刷新が如何に急務であるかゞ判る、又一面公娼卽ち娼妓なるものゝ境遇を觀れば實に悲慘極まるものである、女として生命よりも大切なる貞操を蹂躙せられ日夜淫夫蕩兒に辱められ人間としての自由を束縛せられ、再び浮ぶ瀨のなき暗黑面に泣いて身の不運不幸を歎いてゐるのである、實に不憫なものではないか、弱きを助け强きを挫くは日本男子の本領であるといふに此の纖弱き幾萬の女子を墮落の深淵より救ひ出さず、見す〳〵溺れ行き沈み行くのを見殺しにしては日本男子の一分が相立たぬ、大和魂に若し靈があれば必ず聲を上げて泣くであらう、近頃私は或る所でポンチ繪を見た、夫れは泣いて寢て居る娘の臀の上に親爺がお膳を置いて御馳走を喰べて居る繪である、繪の隅に『ひどい奴娘の臀て飯を喰ひ』と賛してあつた公娼といふ惡制度があるから若い娘に孝行を强ひ、親の威光を笠に着て娘を叩き賣る惡漢や、無恥の遊民や、此の世の厄介物が出來るのである。

正義人道といひ自由平等といふ事の高唱さるゝ今の世に尙斯かる惡制度を存して置く事は實に國家の一大耻辱一大不面目である、外人より賣淫國と嘲けられ奴隷國と罵られ、劣等人種と辱しめられ差別待遇を受くるのも深く考へて見ればコチラが惡いので、赧然として耻ぢざるを得ないのである。最近和歌山市會が滿場一致で公娼設置の建議案を通過したといふ報導が天下の新聞に載せられて物笑ひの種となつて居る。

一の議論もなく滿場一致とは何う云ふ譯かと調べて見たら、三十六名の議員中反對者が一人も居ない時に贊成者許り二十二名てソット決議したのだといふ事であつた、最も此の贊成者中には私共の親友も少なくない、同志もある同黨員もある、尊敬すべき人もある、其人達は何て斯かる輕擧をやつたか聞けば人氣取りに面白からうと思つて贊成したのぢやと笑つて居つた無頓着者もある、要するに贊成者中の多數は何の考へもなしに贊成した者と見えるが兎に角市會といふ代議機關て正式に決議したとある以上は、市の輿論を表現したものと認められても致方がない、市民の名譽體面に關するから吾々は玆に演說會を開き滿場一致を以て「置娼は市民の輿論にあらず」といふ反對の意志を表示するのである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

性慾に對する態度（二）

第三高等學校教授
廓清會評議員　文學士　栗原基

四　靈主肉從の生活

植物には向地性と向日性とありて、一は深く地中に根を据え。一は高く天日に向つて生長する目的を持つて居る。人間にも肉慾と靈慾とがある。我等は肉慾の正しき發動によりて身體を支持し、靈慾の發揮によりて完全圓滿なる人格を作る。然るに肉慾が放逸淫蕩を極めて靈慾の行動を阻害する時は、折角の人生美は毫も發達せず、天の成せる完全無瑕の玉の如き身體は汚醜敗殘の臭骸と化し、花の如き情感美は散つて跡なく、青雲の意氣今は全く消えて仕舞ふ。それ故に理想論としては靈肉一如が結構であるけれども、實際論としては靈主肉從、即ち高きを求むる心靈の要求が第一で、肉慾は何時でも其指揮を仰がなければならぬ。肉の滿足も徹底的にはこれ以外に求められない

一、愛情の純化、愛情は人生の至寶である。愛情は最も靈妙なる樂器である。此樂器を最も巧みに奏し得る人が本當の名人である。愛の樂器の練習は單に低級な消極的修養に依るべきものでなく、高い理想と正しき思索、淸き情感と美しき實行によりて次第に出來るものである。若し情慾遂行を目的とすることあれば、感情は荒さび、私慾が榮え、人生を輕侮し、愛情の絃線からは濁れる鈍い騒音しか洩れて來ない。制慾と潔行とは愛情の純化に對する最上唯一の公道である。

二、男子として最も大切なことは女性に對する尊敬心である。「久遠の女性」を慕ふことの出來る青年は決して墮落することはない。華やかな弱き女性を以て肉慾の伴侶となす程恐ろしい罪惡はないのである。男子が女子の純潔を守つてやれば、女子は男子の能力を淨めて呉れ、兩々相助けて行く所に人生最大の美があることは今更申すまでもあるまい。思うても見られよ、自分の可憐な妹が仇し男に蕾を破られて一生拭ふ可らざる瑕物となつたらどうであらう。將來自分の婚約すべき花も恥らう乙女子が既に純潔を汚されたとしたらどうであらう。世上いづれの女子が誰れかの妹であり、誰れかの將來の妻でない者はあるまい。女性は凡て我々御互の母であり妹である。之れを擁護するのが男子の名譽ある連帶責任であると思ふ。

三、限りある人生に於て出來る丈け多くの仕事をしやうとする所から能率問題が起つて來た。そして靑年が一生の能率を高める出發點は實に之れを制慾潔行に求めることが出來る。能率增加は諸能力を確實に支配することによりて生ずる。意志力、人の機先を制する勇氣、精神集中力、永續耐久の力、純一不亂の志操、これらは能率增加上に必要なる條件であつて、精緻な知的研究にも、機敏なる實際社會にも無くてならぬ所の者である。

四、放縱なる生活は個人の能率の一大怨敵である其一の理由は想像を掻き亂す。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

からである。人の心に於いて、想像程不思議な力あるものはない。創造力を豊富にし生産力を増加するのも想像であり、反對に之れを破壞するのも同じく想像である。放縱の生活は必らず不潔な繪畫を以て心を飾り、人は否應なしに何時でも之を見て居なければならぬ。之がために何をやるにも注意散漫となりて熟慮斷行の行動を望む事は出來ぬ。青年が机上に書を開いても一たび爛熟せる淫蕩の光景を思ひ浮べれば最う駄目である。心の焦點は破壞され仕事も研究も手に就かなくなる。之が彌々激しくなれば身を實際の肉の衝に任せなければ得心しないことになる。斯て一生の能率は非常な損害を蒙る。

五、將來人の親となるべき者は子孫のために制慾を要求される。身心共に最も立派な子女を生むことは人の最上の社會的義務であると同時に、最も深き喜悦最も美はしき報酬である。之に反して身心共に薄弱に恐るべき病氣に罹り、或は生來不具なる子女を生むことは眞に悲むべき罪惡であるのみならず、實に戰慄すべき天罰である。之は不正なる男女の接觸に伴ふ普通の危險である。

五　性慾の犧牲者

制慾潔行は精神鍛錬には絶好なる方法である。能く性慾の熱火を忍び得る者は百煉不磨の品性を與へられ、軈て結婚生活に入りて最も幸福圓滿なる家庭を營むに至る。然るに世に多くの性慾の敗北者あり、一握の快樂と一瞬の滿足との爲めに一生を毒する者のあることは誠に悲みても餘りあることである。

一、不完全ながらも性慾を滿足せしめんとして早くも陷り易きは手淫である。これは自ら性慾發動の犧牲となりて遂に己が生殖機能に不自然なる刺戟を與へて密かに快感を竊み取ることとてある。これは最も廣く青年間に蔓延せるもので、一たび過ては容易に中止し得ざる惡癖となるものである。手淫の害毒は身神の衰弱を來し、甚しきに至れば記憶力の減退となり、人生に對する快感の損失となり、精神過敏心氣懊惱の狀態に陷り、遂には致命的疾患に捕はれるやうになる。それ故に青年は十分に決心して始めから此惡癖に染まないことが何よりも肝要である若し自ら此習慣に陷つたと覺らば斷然其劣情に打ち克たねばならぬ。

二、一度手淫によりて性慾の滿足を經驗した者は進んで私通となり淫を買ふことゝなり、茲に非配偶的性交を敢てするに至る。國家も亦性慾滿足を以て社會政策上必要なりと見做し、公私娼婦の賣春を認可して居る。これは國家の恥辱男子の不名譽であるに係らず今以て恬然顧られざる文明社會の疾病である。

三、不倫不德の性交から起る社會の大流毒は花柳病である。結婚前潔行の生活を送つた人に此病氣に罹る者の無いことによりて、其患者が何處に其病毒に感染したかを推知することが出來る。公娼は檢黴あるが爲めに安心なりとは、屢々世の傳ふる所なれども、統計上娼妓程病氣に罹つて居るものは無く、又檢黴程賴みにならぬものはない。

四、花柳病中殊に恐るべき傳染力と破壞力とを有するは痳疾と黴毒とである。

痳病は最も傳染性に富みたる生殖機關の病氣て、始めは尿道焮衝を起し、尿液は總じて黃色を呈する。若し早く手當を施さなければ慢性的となりて治療頗る困難となり、遂には睾丸を犯して生殖不能に陷らしめる。其他膀胱、腎臟もこれが犧牲となりて其活動を妨げられ、或は病菌が血液に入り關節

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

を苦め、脊骨と腦髓にまで這入つて行く。

淋菌は通常攝護腺に潜伏する。それ故に該患者が、既に全快したと思つて正當の結婚をなす間もなく、罪もなき最愛の人は其人の病毒の犠牲に供せられ、直ちに病院通ひをしなくてはならぬ。可憐なる彼女はこれがために子宮と卵巣とを侵され、不姙症となりて母たる特權を奪はれ、偶々幸か不幸か子供が生れても、盲兒てなければ萬一を僥倖したと云はなければならぬ。

五、○○黴毒は身體全部の組織に及ぶ病氣て、其害毒眞に戰慄すべきものがある。

どんな病氣でも黴毒程多くの患者、不具者、瘋癲白痴などを療養院に運ぶものはない。黴毒は始め局部炎症と皮膚發疹を催ふし、次に口と咽喉の粘膜を冒し毛髪の脱落となり、體質の衰弱を招くに至る。此期間其病毒は非常な傳染力を有つて居る。數年の後病症は更に進みて筋骨、内臓諸機、動脈、特に神經系統と腦髓とを害する。其慘害は發病後二三十年にして現はれることも珍しくないのである。其他運動機能障害、種々なる腦髓の痲痺症、多數の發狂症、死兒の出産、嬰兒の早死の如き大抵黴毒の結果である。

黴毒症の良人を持てる妻も軈て同じ患者となるのは何とも致し方がない。患者は病苦に加ふるに精神上の懊惱煩悶は勿論のこと、折角の愛する子供まで低能や白痴の不具者と云ふに至りては、人生の慘事これに如くものはないであらう。

轉ばぬ先きの杖て、こんな不面目な病氣に罹らないやうに身を慎むのが何より大切てあるが、萬一こんな病氣に罹つたならば、少しても早く信用ある醫者に治療を受けなければならぬ。而して一旦此病氣に冒された者は、全快後二三年間十分健康が保證されるまでは決して結婚してはならぬ。

六　制慾に必要なる條項

我々の身體は『神の宮にして、神靈其中に宿る』べき筈ですが、可惜『肢體を不義の器』となし、罪と慾とを其主人公となすは、誠に不面目此上ないことゝ云はねばならぬ。されど何人も始めから好んで自分の身を滅さんとする者もなく、態々足を危險地に踏み入れて誘惑にかゝりたい者もあるまい。要するに弱き人間の得て陥り易きは性慾上のことてあるから、青年は成るべく斯かる誘惑に陥らぬ注意をしなければならぬ。以下制慾上必要と思はるゝ二三の注意を擧て見やう。

一、飲食に關しては酒及び刺戟性に富める食物は出來る丈け之れを避けなければならぬ。肉食の如きも過度に失すれば情慾をそゝる傾向がある。凡て暴飲暴食は大に慎まねばならぬ。如何なる時に於ても便通をよくし、決して便秘しないやうに注意せねばならぬ。

二、睡眠前はなるべく飲食することを避け、身體の位置は習慣によりて多少異れども、一般原因としては心臓を上向きにして右枕に横臥するのが無難である。夢精は仰臥の場合に最も多く起る。臥床中生殖器に手を觸るゝことは絶對に避くべきことであつて、朝に目が醒めたなら直ちに起きるのが得策てある。

三、不純な血液が體内に凝滞することを禦ぐためには、適度の戸外運動に如くはない。邪念劣情はこれによりて一掃されること珍しくない。但し過度の運動は意志の力を薄弱にし其弱點に乗ぜらるゝことがある。

四、常に沐浴を怠らず、身體諸部を清潔にすることは勿論のこと、特に局部の汚臭痒感を避けなければならぬ。沐浴警戒は潔行の基礎である。

五、心頭常に高潔なる思想と想像を宿すやうにするため、如何がはしき談話、讀書、交友を退けなければならぬ。純潔優雅なる想像が胸中に溢れて居れば、心境は健全靜穏てある。自分の居間に偉人の繪畫などを揭げて、志操を高尚にすることは、意外に効果がある。

六、女性に對して尊重の念を懐き、不德の婦人に接せざるやう注意せねばならぬ。外面花の如きも其實金毛九尾の妖狐のために身を誤る者は擧げて數ふるに遑がない。好んで誘惑に近づき火を弄することは、古人の大に戒めた所てある。

制慾は意力の問題てある。自ら斷乎たる決心を以て妖魔を退けなければどれ程用心しても駄目てある。殊に燃ゆる靈感に心躍る時は、身體悉く神靈の宮であつて何者もこれに近くことは出來ぬ。精神活動の旺盛を期するためには、進んで天地の神靈に我が心身を捧げ、其完全無缺なる保護に依頼するに如くはない。故に制慾の基調は信仰生活と共鳴する。（完）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

大正七年度事業報告

廓清會理事 益富政助

一本年度に於ては殆んど之れといふ御報告致すべき活動がなかつた。勿論其一つは飛田問題とか市議廳の公娼擴張とか云つた樣な我々を刺戟する事件がなかつたからでしやう。假へば御成年式に際しても、藝妓の行列といふ樣な事はなくなつた。又一進歩と云はなければなりますまい。乍併一方に於ては、遊興費が益々殖えてゐる、公娼こそ減つてゐるが、私娼殊に藝妓は非常な勢で增加しつゝあります。公娼は一昨年の吉原は二、四五五人であつたのに、昨年末は二、三五一人といふ風に減りつゝあります。之は如何に今日の公娼が時代に適應せぬかを示したものと思ひますが、そこで警視廳では新宿の新遊廓を作るに、なるべく時代に適應する苦心をしたといふ、遊廓の盛んになるのが當局者の願ひであるといふのは、不思議千萬な思想と申さればなりませぬ。それから本年の議會で、横山勝太郎氏が廢娼論を叫んだのは注意すべき一つであつた。禁酒に於ける根本氏同樣、今後は毎年やつて貰ふ事になりました。

◉演說會

▲演說會は、昨年五月八日、青年會館で、岡村龍彥、生江孝之、安部、油谷、島田氏出演聽衆千人

▲五月十九日、濱松演說會

コーツ博士の熱心なる御盡力によつて開會、本部より島田會長、伊藤主事出演し、津久井氏（農學校長）開會の辭を述べた。

▲六月十九日、總會、演說會を女子職業學校にて開く三宅礦一博士内ヶ崎、山室、林歌、島田の諸氏出演、聽衆千二百人。

▲七月十九日、大倉父二氏（評議員）死亡

▲八月十六日、輕井澤にて演說會、松宮、阿部島田氏出演聽衆五百名。

二十日、輕井澤にて外人の爲めに演說會、ウインテル氏司會、ピーク氏の通譯にて島田氏出演聽衆百名。

▲十月十六日、山本、益富の二理事歸朝。

▲同三十日、右兩氏歡迎會を開いた。

▲同日夜、青年會館で、婦人矯風會と聯合で演說會を開いた。辯士は菅、山本、林、益富、油谷、島田の諸氏で、聽衆約千人であつた。

▲二月一日、理事會を開き、續いて新年懇談會を開く席上、片山國嘉博士を評議員に推選した。

▲二月廿七日、女子職業學校で演說會を開く。辯士は、三輪田氏、高岩氏、旦正氏、益富氏、島田氏、片山氏、出演。聽衆約七百人であつた。

それから本年度に入るのであるが、

四月一日から十四日迄、九州各地に於て、私が鐵道青年會の巡回講演に出張した餘暇を以て、夜は廓清會の講演會を教會堂又は學校、議事堂等に於て開き、

今年の結婚調度相場

▼昨年より三割高 ▼戰前に比し倍額

秋風が吹いて袷に變り、婚約の男女が目出度く華燭の典を擧ぐるシーズンに近づいて來る、娘持つ親の心配はこれ。今年結婚用の調度の模樣を三越にて聽くに何れも三割高戰前に比べては倍額の騰貴であるが、それでもどし〳〵出るから不思議な景氣だと店員は一々結婚用調度の相場を左の如く語つた。

◆衣物類

一組	黑縮緬振袖模樣	二百八十五圓
	色縮緬振袖面	二百五十五圓
一組	黑縮緬江戸褄模樣	百七十五圓
	縮緬江戸褄二枚重	二百二十圓
無地御召縫紋江戸褄		百四十五圓
唐錦の帶	（何れか一縫を選ぶ）	百二十圓
色錦の帶		百圓
御コート紋絣御召		五十圓
布團夜具綾入丈夜具一、敷物二、かけ一		百六十圓

◆家具類

總桐箪笥	七八十圓以上百圓
三方桐箪笥	三四十圓
鏡臺（桑ならば百圓まであり）	二十圓
針箱	二十圓前後
長持	七八十圓

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

門司、小倉、久留米、熊本、人吉、鹿兒島、日出、大分、別府、臼杵、佐伯の各地て、私と伊藤秀吉君と出演しました。片山博士、伊藤一隆の二氏も途中まで出演して下さいました。

▲五月、島田會長は、濱松支部及名古屋に於て廓清演說をやつて下さいました。

●印刷物

▲印刷物は、今年度は別に機關雜誌の外に何も發行しませぬでした。雜誌は昨年の秋期倍號の『遺傳と環境』號と、本年一月の『文明改造』號とは、相當に好評でした。一ヶ年の發行總數は約四萬二千部で、一ヶ月平均三千七百位です。

▲自由廢業案内は既に品切になりました、屢々注文が來ますから再版したいと思ひます。又花柳病に關する飜譯が油谷氏の手から脫稿されたら、之亦トラクトとして出版する筈であります。

▲此外一昨年からお許しを得てゐた島田先生と安部先生の風教論集の編纂が漸く島田先生のは纏まりました。先生の夏のお仕事に輕井澤て御校閲を願ひたいと思つてゐます。菊版五六百頁のものでせう。安部先生のも既に掲載雜誌の調査を完結しましたから、淨書するばかりです、されば之も本月中には淨書が出來ませうから、やはり輕井澤のお仕事として御校閲を願ひたいと思ひます。まだ先生のは風教問題のみでなく社會問題も隨分澤山ありますから、お差支なくば、此方も廓清會て出版して廓清會の財源にさして戴きたいと思ひます。

◎それから去る二月一日の理事會で相談しました件の報告もありますが、之は別項の協議會席上に譲つて其際の報告と共に御協議を願ふ事に致します。

第九回廓清會總會

七月一日第九回總會を神田青年會館に開く、午後五時半會長島田三郎氏議長席に就き、益富理事並に伊藤主事より七年度事業報告あり、次て山本理事代理小松理事の會計報告あり、各支部報告の後、六時協議會に移り、一娼妓の人身賣買と奴隷狀態に就て、一廓内に於ける飲酒を禁ぜしむる件、一海外醜業婦取締の件、一如何はしき廣告及商品取締の件、一貸座敷業者の慈善教育事業に就て、安部磯雄氏、宮田脩氏、山室軍平氏、高島米峯氏、高岩義政氏、片山國嘉氏、益富政助氏、內ヶ崎作三郎氏、平岩恒保氏、油谷治郎七氏、小松武治氏等の熱心なる議論ありて協議を遂げ、役員改選に移り、滿場一致島田三郎氏の會長留任を希望し、島田氏之を容れ、理事並評議員は會長指名の動議成立して、前年通り何れも重任を乞ふ事となり、大演說會を開く、伊藤主事開會の辭を述べ、益富理事は『覺醒革正、廓清』と題し、安部副會長は『結婚離婚論』と題し、島田會長は『人種差別撤廢と朝鮮問題』と題し、何れも快辯縱橫時弊を論じ覺醒を促し、破るるが如き喝采の裡に降壇、最後に封切活動寫眞『誘惑の魔手』と題するシカゴに於ける婦人誘拐の經路と其撲滅に至れる顚末を脚色せるものを映寫し、有益なる感動を充分に與へて十一時閉會した。

此日入場者定刻前より陸續詰めかけて滿員札を張るの餘儀なきに至り、窓外に佇んて遙に聞かんとするものすら無慮百名に及び、入場者千五百名空前の盛會を極めた。

◆髪飾類

島田用	本鼈甲	一組 二百圓
花笄	四方張	三十四五圓以上七八十圓
	卵甲	十七八圓以上三十、二三圓
丸髷用	本甲	二十七八圓
角型櫛	四方張	十圓内外
儀式用	卵甲	四五圓内外
	鼈甲	七八圓以上
平打簪	四方張	二三圓
外出用丸型鼈甲		
差絵櫛		十二三圓
珊瑚根がけ	古渡り	百五十圓以上
	土佐玉	五十圓以上
珊・瑚玉簪	古渡り	二百圓
	土佐玉	二三十圓
東髪用	金製ヒン	三十圓以上

◆雜貨類

鼈甲四角ヒン	十二三圓以上
角かくし紗製	一圓二三十錢
手提げ革製	十圓前後
又は布製	四五圓まで
トイレットケース	七八圓
ハコセコ	八九圓
裁縫板	二圓五十錢
裁縫道具一式	十個前後
ショール	二三十圓前後
帯留金	四五十圓

EAST ASIAN LIBRARY

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

遊廓物語（十五）

救世軍婦人救濟係
伊藤富士雄

『イヤ今日此頃の廓の景氣と云つたら、それは〳〵大變なものですよ。何しろ今のお客さんの金消費振りと來ては驚く許りて、それてゐて皆温和しくて、花魁が少ないと來てゐるから、今の處大將も萬々歳だし、花魁も親切にされて宛然奥女中のやうな有樣てすがネ。──考へるとお前さん杯は全く不幸福だつたのサ。彼の時分の不景氣に稼がなければならなかつたといふのは……』

以前はお職で通した娼妓、現在は某職工の妻となつたお初さんの處へ、知合の吉どんといふ番頭が或日の事、遊びに參りましたといふての話の序てに斯樣ことを語つたのてあつた。

『ヘイー其麼に近頃の景氣は好んですか知ら。然う云へば全く私達の頃は酷かつたネ。お客はなし、偶あつてもお客に金は無し、旦那やお女將さんからは毎日の樣な小言。それても私などは、お前さんも知つての通り、お職の張通して飛ぶ鳥も落とす勢ひだつたからネ。』

『全くてすよ。私が雇はれた許りの頃のお前さんの勢ひと來たら、橫の物を縱にもしないで不斷新造衆を頤て使つてサ、私杯も隨分お前さんのお客などに世話になつたものだネ。……變れば變るものサ。彼の頃と今とはお前さんも隨分酷い變りやうさネ。』

娼妓の不足に窮してゐる樓主が、斯うして當娼妓の處へ手を廻してまても其の回復に努めつゝあるとは夢露知らぬお初さんは、只理由もなく遊冶郎相手の歡樂の時代が戀しくてならなかつた。

『實はお前さんだから話すがネ。内も初の間は隨分親切にもして呉れたが、近頃ては何うでも宜いといふやうな顏樣イ、時には夜宿りするやうな事もあるし、物價騰貴とやらて諸式が高くなつて好きな敷島も喫む事が出來ないといふ慘さてネ。』

『イヤ全くてすヨ。何しろ米が一升七十錢といふ途方もない相場なんだから、如何に稼いだからとて堅氣ては迚も遣り切れませんやネ。其處へ行くと私杯は有難い事に、斯うして辛棒したお蔭て、先づ贅澤な暮しも出來るといふ譯さネ。──マア一本お上がんなさい。』

敷島に火を付けクラ〳〵する程煙を吸込むだお初さんは、知らず〳〵の間に誘惑に落ち行くのてあつた。

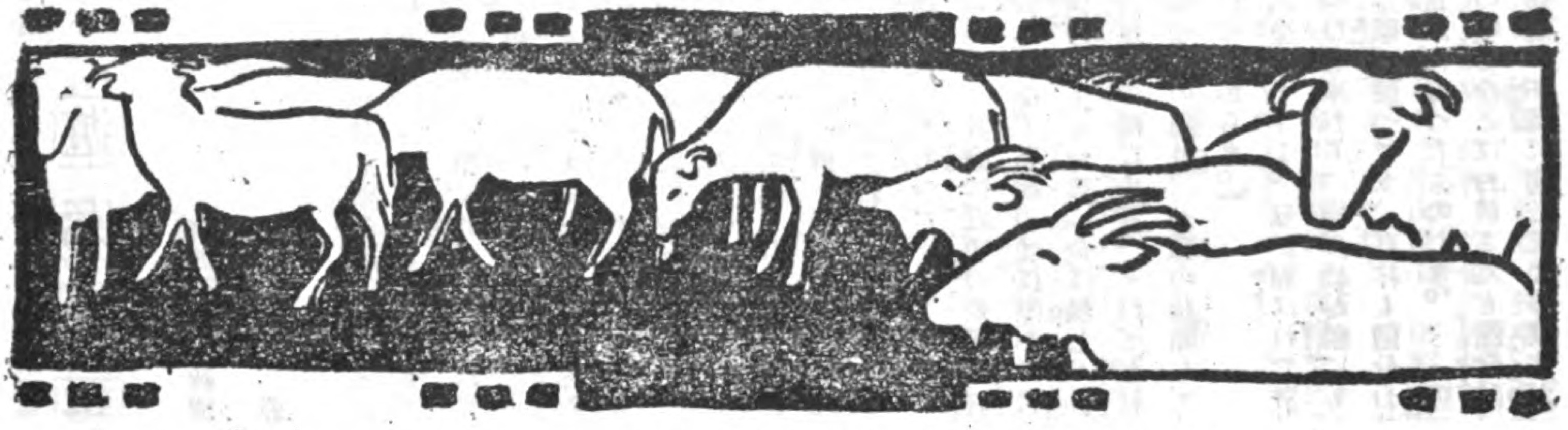
『之れは旦那がどうぞお初さんに、彼の頃稼いて貰つたお禮といふ譯てはないが、兎に角永い間一つ鍋の飯を喰つた中なのだから、昔稼いて貰つた恩返し、に、當座の小使だと云つて賴まれて來ましたが。』

と一封の金包を差出したのてある。それから話は漸次深間へ入り、亭主と相談して氣儘な勤めをして見たら何うか。無論月に二三回位は亭主に會ふ時間も貰へるだらうし、景氣が良いのだから僅の間にウンと金を溜めてサッパリと廢め、それから呑氣な二人暮しも滿更惡くも無いてせう、といふやうな甘言に乘せられ、遂に二度の勤めといふ事に相談が纏つて、其の上戶籍上の離婚までも、何の彼のと理屈を付けられて手續を履み、騙されるといふやうな事は夢にも思はず、『それじや一つ遣つて見ませう。何!! これても私なんか、吉どんも知つてゐる通り昔取つた凄い腕だもの、何のいま時の若い妓などに負けるものかね。テキパキしない薄野呂間な今どきの妓の見せしめの爲め一つウント稼いて見せます。イエ何の苦勞の事がありますかね。』とソワ〳〵した何の氣なしに舊樓に出稼する事になつたのてある。

固より吉どんから聞いたやうな事は一つも的にならなかつた。お客に金があると云つても、それは皆職工のやうな連中許りて客種が非常に惡く、樓主は相變らず客の有無に依つて娼妓の等級を區別して、客足の遠い娼妓が慘なほど酷使し、加之に月に二三回位は亭主に會はせて遣ると云つた事なども、忘れたやうに知らぬ振りをして何彼に就け特別條件杯は役に立たず、遂に廢業を目論見て私が助力して自由廢業したのてあつた。而して彼の女に聞けば、樓主が斯る手段を用ゐて舊の娼妓なして二度の勤めをさせるやうに運動してゐる事は、現今頻りに行はれつゝあるさうてある。て大抵の者は、恐れに騙されたと知つても最う何うする事も出來ない破目に陷つてゐる娼妓が多いといふ。

公娼制度の末路も遠き將來てはないといふ考へは汎く識者の抱いてゐる處てあるが、東京市内外丈ても一年に三百人位宛減つて行くといふ今日、樓主は今尙ほ斯る醜陋奇怪なる手段を用ゐて豫備後備の娼妓と稱する堅氣になつた人の妻までも復舊させやうと苦心してゐるといふ事は並大抵の努力てはあるまいと思ふ。若しそれ丈の努力を他の方面に致したならば何業とても成功する筈てある。然るを何故に如斯人非人の營業を飽くまで續行せんとするか、吾人は彼等が未だ舊幕時代の所謂花魁の迷夢に促はれ、醒める處なきは眞に歎ずべき事てあらうと思ふ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



娼妓病院手記（六）

前某驅黴院看護婦　田口和子

七月一日（火曜日）

每月發行される度毎に私の手元へ届く東京の芝に於て發行する興信新報といふ、新聞のやうな形式で其の實雜誌見たいな新聞が今日も私の處へ配達されました。何時もの事ながら基督教の反對記事のみを載せてゐる新聞でありますが、今度のは分けて大きな標題で『救世軍を撲滅せよ』と隨分長々しい論文が載せられてあるのです。讀んで見ると始めから其の終りまで全く根も葉もない、さも事實があつたやうな書振りで、殊に罵倒したり極端な暴言を吐いたり、それは〳〵到底お話しにならない程下劣な辭句許りを並べてあるのですが、中には『大金を出して抱えた娼妓を自由廢業せしめて、それでゐて社會事業家を氣取つてゐる不埒千萬な奴は、此の際速かに之れを社會から驅逐して了はれればならぬ』杯と出放題な小供騙しのやうな事を書いてあるのです。是れには何か私共の想像の出來ない或る何物かゞ潛在してゐるのでせうけれども、何れにもせよ毎度御苦勞千萬な事と思はれるのであります。救世軍に何の罪ありや。私は玆から此の問題の發足點を見出して徹底的に調査した上でなければ、徒らに救世軍を罵倒するやうな事は出來なからうと思ふのです。それを只だ矢鱈に撲滅せよなどゝ高言するのは何う考へて見ても當を得た事とは思はれません。けれども現在から思へば此の新聞は私に取つては大恩人なのでありました。何故かといふに、彼の當時、眠つてゐた私の靈を刺戟して、私の生涯に新しい生命を與へてくれた動機を作つて與れたからです。私が此の病院に奉職して以來、此の新聞の基督教反對の記事を見る度毎に、斯樣に外界の嫉の的になつてゐる基督教なるものは、餘程其の内容が充實して居るに違ひないと思ひまして、食べず嫌ひでは不可ないから是非とも基督教のお話を聽かうと思つたのであります。それから暫時日が經つて或る夜の事、教會へ參つて牧師さんの說教といふものを初めて聽いたのでありますが、其のお話の凡てが高尙で深遠でそれは〳〵何とも云へない、或る一種の崇高な感があつたのです。それからと云ふものは必ず每週に一回は說教を聽く事にしたのであります。現在の私が斯うして確乎した心持ちで此の仕事を爲しつゝあるといふ事と、充實した欣びとに活きてゐるといふことは、全く是れは神の惠なのであります。此の神の惠に浴する事が出來るやうになつたのも、實は新聞のお蔭なのでした。新聞社の方々にはよもや私のやうな反對する基督教に依つて救はれたといふやうな事は想像し得ないでせうと思はれます。『汝の敵を愛せよ』とはキリストの御言葉である。只今惡罵冷評を逞ふしゝある新聞社の方々、殊に攻擊文を草した方もいつかは神の惠に依つて、從來の過ちを悟るに違ひないでせう。一日も早く其の秋の來らん事を、私は特に今夕のお祈りに附加へて默禱したのであります。

二日（水曜日）

今朝私が事務所へ行きますと、私を待ち構へてゐましたといふて『そらネ、あの△△樓の八千代さんが、昨日とう〳〵自由廢業して國へ歸りましたヨ』と、其の朋輩が告げて與れたのです。私は意外に思ひました。日頃馬鹿だの薄ノロだのと朋輩や其の他の人々から云はれてゐるあの八千代さんが、自由廢業したといふ事は到底想像も付かない位なのです。併しだん〳〵考へて見ると合點の行く事柄があるのです。最うズッと前でした。其の頃この事務所にゐた食客の男と八千代さんが、何か一寸した事の行違ひから遂に口論になつた事がありました。私はそれを幽に覺えてゐるのです。何でも男の云ふには『他人へ賴み事をするのに、娼妓！云はゞ畜生の癖に突立つた儘で用を賴む橫着者があるか、牛意氣に』と云ふのです。すると八千代さんの方では『何ですッテ。畜生の癖にだつて、如何に娼妓稼業はしてゐるものゝ、畜生呼ばゝりは餘り酷過ぎるじやないかネ。お前さんだつて考へて御覽、男の癖に碌な働きも出來ないから、然うやつて食客なんかになつて、這麼くだらない事を遣つてゐるんじやないか。他人の事は何うでも先づ自分の事を考へて見るが宜い』と楯衝いたのですから耐りません。男は青筋を立てゝ八千代の橫頰を撲つたのです。其の物音に皆の者が馳付けて漸く雙方を靜めましたが、後で八千代は口惜泪を流しながら『未だ親にも打たれたとのない此の身體を打ちやがつて、おまけに畜生だの人非人だのと散々毒付くとは餘りに情けのない仕打だ』と齒軋りを嚙みながら歸つて行つたのです。すると二三日前に來ていふやう『娼妓をして居ればこそあんな酷い目に會ふのだから、私はどんな

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

方法を採つても今度こそは堅氣になつて、彼んな男に見や角云はれるやうな者になりたくないから、是非ともキッパリと廢めて舉ふ』と私に話されました。今て考へて見ると矢張りあの事が動機であつたのでした。聞けばそれから直ぐに樓主に相談して借金を半減して貰ひ、實家から金を取り寄せて歸つて行つたとやら。ですから自由廢業ではなくて、合意廢業なのでありますが、娼妓の仲間では是れをも自由廢業と云つてゐるのです。元來八千代さんの實家といふのは左程生計に困るやうな家庭ではないのださうです。それを自分から好むで、娼妓になつて世の中を面白く可笑しく暮さうといふ浮調子の考へから親の承諾を受けて來たのださうですが、餘りに馬鹿々々しいと云へば馬鹿々々しい事なんです。けれども是れを一事のお笑草として私共は見逃す事が出來ませうか。娼妓でもさうで御座いますが、彼の藝妓になる者も其の三分の一は矢張彼の女のやうな考へて、世の中を面白く可笑しく騒いて送らふといふ者があるといふのは洵に嘆かはしき事ではないでせうか。好奇心に驅られて花柳界に沈む彼の女等の不幸は云ふまでもありませんが、彼の女等を弄ぶ多くの男にもそれと同じく彼等と共に奈落の淵へ沈むて行くといふ事實を目前に見ながら、世間の人達は平氣で之れを觀過ごしてゐるのは何ういふ譯なんでせう。嗚呼！賣淫制度の存在ほど此の世の中に怖ろしいものはありません。私は熟々然う思ひます。

五日(土曜日)

私が此の病院に勤めるやうになつてから最う隨分になるが、それでも見るもの聞くもの皆珍らしく感ずるのです。といふのは妓の社會は普通の社會と違つて、凡ての事が反對になつてゐるので、何う考へ直して見ましても此の調つてゐる空氣を了解する事が出來ないのです。今日も今日とて遊廓の中央にある某藥種屋の前を通らふとしますと、パチ／＼といふ物音がするので、佇むで樣子を見ると其の家の五歳位の男の子が、帳場の机の上にチョコンと座りまして、右の手に塵拂を持つて一生懸命に『ヤッほん／＼』と口調子をとりながら机の横側を叩いてゐる所でありました。私は思はず異樣な感に打たれて其の有樣を見るに忍びませんからサッサと通過ぎましたが、何も考へない人達があれを見たなら嘸かし無邪氣な事と腹を抱へて笑ひ興ずる事でせう。洗滌所で洗滌の仕事をしてゐる中に、其樓家の娼妓に出會ひましたから種々尋ねて見ますと『あれてすか。あの子供は貞雄さんと云つてネ。それは／＼ほんとうに可愛らしい子供なんですよ。私達のする事爲す事みんな眞似るので、誰も彼れも違い玩具にして一緒に遊ぶのですが、此の間などは二階の散財部屋（娼妓達が日中晝寢の間に寄合つて種々な物を飲むだり食つたりする室）の食盤の前に座蒲團を幾枚も重ね、其の上に小さな胡坐をして手を鳴らし、片言交りに『ビーズ／＼（ビールの事）』と叫ぶのですが、其の樣が如何にも面白いものですから、何時もみんなが大笑ひなのですよ』と。頑是なき子供に斯うして喰ひ入る混濁たる空氣、それが結果に於て善いか惡いか今更論ずる迄もない事ながら、大正の聖代に斯る社會が現存してゐるといふ事は如何なものて御座いませう。國民教養の機關たる文部省は、何故に如斯事實に顧みて斷然臨す策を執らぬのでありませう。公娼制度の必要なるを承認する内務省には、種々の救濟機關が整備した居られるさうでありますが、何れの救濟事業よりも容易に其の効績を收め得らるゝ公娼の救濟に何故考へを及ぼさないのでござゐませう。『幸福な女は操捨てゝから』といふ川柳が御座います。男が生れたら醫者に、女が生れたら藝妓にせよといふ現代の風習思潮、是等は皆悉く公娼制度が其の因を爲してゐる事を嘆かずには居られないのです。

私はこれに就て何時も考へ出すのでありますが、私が東京に居りました頃、矢張り遊女屋の近所に住てゐた或る鳶職の女の子が、何時も藝妓の眞似事をして遊むで居つたのです。大きな撥を抱いて火鉢などて三味線を彈く眞似をしたり、團扇を持つて手踊の綱を作つたりして家内中の者を笑はせて居りましたが『しいちやんは到頭藝妓になつて仲之町から出ましたヨ』といふ話を後から聞きました。今頃は歡樂の夢が破れて、朽ち果てた我が身の置き處に困つてゐる事でありませう。かう思ひますと、何時も可哀相でならないのですけれども、さういふ現實の果敢なさに泣く女は、獨りしいちやん許りてはない筈です。もつと／＼多數の犧牲者が我國を呪ひ、社會を咀つて熱い涙に日を送つてゐるのて御座いませう。

昨日の午後の洗滌から其の醜行爲を悔まして了つた筈の△△樓の鶴子さんが、四五人の朋輩と一緒に今日の洗滌に來たのです。餘りの事に私は驚きまして『昨日何故逃げたのですか』と聞けば『商賣するが何となしに嫌になつたからサ』と、前とは打つて變つた捨鉢な態度なんです。すると側から朋輩の一人が『それもサ。何も知らない垢の他人の處へ行つて、お叔母さん夕方まで休まして下さいと上り込むだのださうてすよ。お金なんか一文も無い癖によくそんな眞似が出來たものさ。私達はあなたの爲めにどんなに迷惑をしたか知れやしないよ。お前達が逃がしたのだらうから、何うしてもお前達が探さなければならないの何のと、痛くもない腹を探ぐられて、嚴しいところへ持つて來て御ほ一層嚴しくなつて、ほんとうに困つて舉つたワ』と愚痴だら／＼に本人に當擦りながら話して呉れるのです。すると駒子さんは平氣なもので『そんな事を仰言つたつてよく考へて御覧な。如何に矢釜しいたつて餘りに嚴過ぎるじやなくつて。だから私はどこかへ鞍替しやうと思つて相談すると、借金より二百圓許り殖えてゐるから六百圓耳を揃へなくては駄目だなどゝ云つてゐるのだもの、私が何時そんな借金をしたか隆張列らないじやないの。稼ぐ方じや奈くウンと稼ぐのに、何時の間にか二百圓も殖えてゐるなんて、餘り馬鹿々々しいから逆もこんな奴に相談した處が埒が開きさうもないと思つて、これは一番尻に帆をかけるに如くはないと思つて、到頭飛出して了つたのサ』と、其樣な事は何うでも宜いといふやうな、自暴自棄な、彼の女の心は、其の言葉の語調によく表はれてゐるのでした。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

▲時代は確に急轉しつゝある樣である。我々は此際大に活動をしないならば、時代に置いて行かれるかも知れない。新秋爽涼の氣は方に吾人に迫つてゐる。そこで今度我廓清會に於ては、根本より組織を變更して一大活動を試むるの案が將に成らんとして居る。

▲其内容は未だ發表するの自由を有しないが、兎も角も誰より島田會長が熱心に提唱せられて居るので、無論之は成立するであらう。多分十月四日評議員會を開くの運びとなり、其結果直に大活動に着手するであらう。會員諸君は次號に於て刮目して、組織變更一大活動の報告を御覽下され、一層の共鳴と御援助を切望致します。

▲近來に於ける最も目覺ましき傾向はいふ迄もなく勞働問題である。之を昨年一昨年に比し眞に九天直下隔世の感がある。併し吾人の密に恐るゝは之が果して幾何迄人格的目覺に基づくかといふ點である。吾人は勿論資本家の跋扈に憤慨してゐた者で、勞働者の勢力が資本家を壓するに至つた最近の狀態を、痛快にも思ふし當然とも考ふるものであるが、併し吾人は何となく不快な感情を最近に至つて持ち始めた。

▲それは彼等の態度なり運動なりが、もつと紳士的になりたいといふ點である。ゴロツキの樣では困る、勞働者も亦紳士となつて、紳士的に社會に對して行くやうに早くならんことを熱望せざるを得ない。

▲それに就て自分の不思議に思ふのは、勞働者が自分の收入を増して生活難を免れんとして、頻りに資本家を脅かし、ストライキ又ストライキ。やらぬが損だと云つた樣な有樣になつて來たが、一體物價の騰貴して生活の困難を感ずるのは、現内閣の無策といふよりも政策が惡いからで、内閣に對して物價調節の運動乃至内閣交迭の運動にその鋭鋒を向けることをしないだらうか。

▲物價が高いのは世界的だから月給を増してやればよいといふ政府なのだから、物價の下りやうはない。今にして政府が通貨收縮を斷行して物價引下げの策を講じないならば、勞働者のストライキ運動は轉じて、現内閣倒壞の運動となるであらうと思ふ。

▲内務省では近々花柳病取締法を公布する筈で、目下頻りに調査中であるといふが、警視廳の福永衞生部長は『花柳病に罹つた患者は總て屆出てる事、又結婚の際は男子の健康診斷を取る權利を女子に與ふる事等を規定したい』と云つたと新聞紙に傳へてあつた。吾人の主張が大分實現されさうな形勢である。

▲最近六月末現在の調査によると、府下の待合總數千四十九藝妓屋は市内で二千五百七十九、群部三百三十二軒で、昨年の二千五百三十五軒に比し、三百七十六軒増加し、之に對し、藝妓の數は市内七千二百六十二名、郡部九百二十八名合計八千百九十名で、昨年に比し一千二百十九名の増加を見、實に一ヶ月平均百名以上の増加であるのは、驚かざるを得ないではないか。

▲娼妓の方は昨年に比し却つて減少した。現在は郡部とも五千四百三名であるが、之によつても公娼制度が時代錯誤のものであるといふ事を知るに足る。併し嫖客は昨年より著しく増加し、六月一日で三十五萬三百十二名で、昨年より一萬九千三百九十七名を増加し、其費消金額は吉原洲崎の二廓で八十七萬七千八百圓、他の四宿二廓で二十五萬六百圓、合計百十二萬八千四百八十五圓で、昨年の六月に比較すると、二十五萬七千八百十五圓の増額で、五月に比べて一萬四千百二十八圓の増額である。何と驚くべき數字であるまいか。

▲和歌山市に於ける公娼設置問題は、幸にして和歌山新報を始め同地の各新聞其他輿論の反抗甚しく、實現を見る事困難なるべしとの事にて、日匹信亮氏は其郷里である關係より、同市縣廳の主なる人々と會見して大に廢娼論を鼓吹し無法を攻擊されたとの事で、同氏は記者に大丈夫心配せぬでもいゝと保證して下さつた。

▲大正六年度に於ては藝妓一人が一年間の平均稼き高は三千五百圓で、娼妓は千四百十圓である。之を通算すると東京市中の藝娼妓全體に戲むるゝ一ケ年遊興費は約三千萬圓に上る、之に對して東京市が遊興税を、二圓以上遊ふ者に十錢を課しそれ以上は一圓を増す毎に五錢宛を増す事にすると、一ヶ年百五十萬圓の遊興税が出る勘定であるが、本年に於ては遊興費は遙に増してゐるから遊興税もモツト巨額になるであらうといふ。

▲近來大流行の歌劇女優といふ者は、カツフエーの女の上りださうで、音譜など更に見當のつかない連中ばかりであるが、一通常の婦人として表はさゝる部分の肉體を露出することによつて、若い男達の熱狂的歡迎を受けて、淺草の歌劇場は滿員續きである。之は風教上確に考慮を要する事實であるが、近來遊蕩學生が之等私娼的歌劇女優の爲めに總見をなし、或は女優の樂屋に入込み風紀を亂す事甚しきより、警視廳に於ては今後絶對に總見及樂屋の出入を禁止する事となつた。

▲昨年度に於ける東京府下の自殺者は千六十四人で此中六百五十九人が男、五百五人が女である。其方法は入水が最も多く縊首轢死毒藥之に次ぐ、自殺の原因は、

原因	男	女
▼精神錯亂	二六六人	八五人
▼重き病氣	四五四	二五八
▼情死	九三	三一
▼親屬不和	一一七	六四
▼厭世	二〇二	六〇
▼生活難	五八	一七
▼痴情	一五	一〇
▼離縁	九	八
▼私娼	九	九

又年齢に就て調べて見ると

▼十六歳以下	一二
▼二十歳以上	一五七
▼四十歳以上	四二
▼未婚者	六七
▼離婚者	九〇
▼十六歳以上	七〇
▼三十歳以上	八一
▼五十歳以上	一一五
▼既婚者	九八
▼喪配遇者	四八

大正八年九月廿五日印刷（每月一回十日發行）
大正八年九月廿五日發行（一部定價金拾五錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉

印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生

印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社

發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話本局四〇三五番
振替東京二七〇七二番

◎廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓清」による旨御申添を乞ふ◎

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話番町 一六二番 一五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎日午後 但祭日及日曜の他

大正七年十一月一日第三種郵便物認可
大正八年九月廿五日印刷納本（毎月一回十日發行）
大賣捌所　東京堂、東海堂、上田屋、北隆館、良明堂、時耕社
定價壹冊金拾五錢

EAST ASIAN LIBRARY
Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY